

報告文献別一覧表(2003/10/16 ~ 2004/3/31)

資料 No.4 - 2

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
A型肝炎	ABC Newsletter 11/14, 2003	米国ペンシルバニア州で、A型肝炎による400人以上の集団感染が発生した。輸血による感染はまれであるが、北オハイオ赤十字血液センターは、発生源となったレストランで食事をしたヒトからの供血を12ヶ月間延期する感染防止措置を取った。	588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
A型肝炎	CDC MMWR, 9/5, 2003/52(35): 844-5	2003年7月、米国のアウトドアコンサートやキャンプに参加した若年者計25例のA型肝炎の流行事例の報告。	291	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマー1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	1,2 添加物
			297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
A型肝炎	CDR Weekly HP August 29; 2003	英国イングランドとウェールズの2002年のA型肝炎感染件数は、減少傾向を続けていた前年までと異なり、1352件(前年比42%増)であったとHPAのCDSCに報告された。このうち、リスクファクターに関する情報含んでいたのは11%で、主なものは静脈注射薬物使用であった。	230	アベンティスファーマ	1 人血液凝固第 因子 2 フィブリノーゲン、人血液凝固第 因子、アプロチニン液、日局トロンピン	人血液凝固第 因子	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分
			234	アベンティスファーマ	フィブリノゲン、人血液凝固第 因子、アプロチニン液、トロンピン、塩化カルシウム	アンチトロンピン	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	製造工程
			235	アベンティスファーマ	人免疫グロブリンG	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国、ドイツ、オースト	有効成分
			236	アベンティスファーマ	破傷風抗毒素	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国、ドイツ、オースト	有効成分
			237	アベンティスファーマ	フィブリノゲン、人血液凝固第 因子、アプロチニン液、トロンピン、塩化カルシウム	フィブリノゲン	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分
			238	アベンティスファーマ	フィブリノゲン、人血液凝固第 因子、アプロチニン液、トロンピン、塩化カルシウム	トロンピン末	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分
			289	アベンティスファーマ	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	赤血球ストローマ	ヒト血液		製造工程
			348	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	HBs抗原たん白質(huGK-14細胞由来)	ヒト肝臓	日本	有効成分
			444	アベンティスファーマ	乾燥濃縮人アンチトロンピン	乾燥濃縮人アンチトロンピン	ヒト血液	米国、ドイツ、オースト	製造工程
			529	アベンティスファーマ	人C1-インアクチベーター	人C1-インアクチベーター	ヒト血液	米国、ドイツ、オースト	有効成分
530	アベンティスファーマ	ペプシン処理人免疫グロブリンG	ペプシン処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国、ドイツ、オースト	有効成分			

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			647	アベンティス ファーマ	1,2,3 人血清アルブミン 4 人血液凝固第 因子 5,6 フィブリノゲン、ヒト血液凝固 第 因子、アプロチニン液、日 局トロンピン	人血清アルブミン	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オースト リア	1~3 有効 成分、4~6 添加物
B型肝炎	Hepatoronogy 2003; 37(5): 1172-9	血中のHBV-DNAが消失して急性B型肝炎が治癒した後も1 0年間は肝臓組織中にウイルスが存在する。肝機能異常が 認められなくても組織学的には病変が確認される。	187	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	乾燥濃縮人血液凝 固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			188	日本赤十字社	人免疫グロブリン	人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			189	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			224	日本赤十字社	洗浄人赤血球浮遊液	洗浄人赤血球浮遊	ヒト血液	日本	有効成分
			226	日本赤十字社	白血球除去人赤血球浮遊液	白血球除去人赤血 球浮遊液	ヒト血液	日本	有効成分
			227	日本赤十字社	新鮮凍結人血漿	新鮮凍結人血漿	ヒト血液	日本	有効成分
			228	日本赤十字社	人血小板濃厚液	人血小板濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			229	日本赤十字社	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリ ン	乾燥ペプシン処理人 免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			344	日本赤十字社	解凍人赤血球濃厚液	解凍人赤血球濃厚	ヒト血液	日本	有効成分
			358	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブ リン	ヒト血液	日本	有効成分
			402	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			403	日本赤十字社	人全血液	人全血液	ヒト血液	日本	有効成分
			B型肝炎	ProMED 9/15, 2003 (読売新聞 9/14, 2003)	政府が日本赤十字社に検査を命じた6400単位の輸血用血 液中、37単位がHBVに汚染されていたと情報筋が伝えた。	537	シェリング・ブラ ウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン
B型肝炎	Transfusion 2003; 43(6): 696- 704	米国でHBs抗原陰性でHbc抗体陽性の供血血液について、 HBV-DNA陽性率、ウイルス量などを調査したところ、Hbc抗 体陽性血液の0.24%でHBV-DNAが陽性であった。Hbc抗体 検査を実施しない場合は、HBV-DNA陽性血液が0.002%の 割合で出荷されると推定される。	187	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	乾燥濃縮人血液凝 固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			188	日本赤十字社	人免疫グロブリン	人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			189	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			224	日本赤十字社	洗浄人赤血球浮遊液	洗浄人赤血球浮遊	ヒト血液	日本	有効成分
			226	日本赤十字社	白血球除去人赤血球浮遊液	白血球除去人赤血 球浮遊液	ヒト血液	日本	有効成分
			227	日本赤十字社	新鮮凍結人血漿	新鮮凍結人血漿	ヒト血液	日本	有効成分
			228	日本赤十字社	人血小板濃厚液	人血小板濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			229	日本赤十字社	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリ ン	乾燥ペプシン処理人 免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			344	日本赤十字社	解凍人赤血球濃厚液	解凍人赤血球濃厚	ヒト血液	日本	有効成分
			358	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブ リン	ヒト血液	日本	有効成分
			402	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			403	日本赤十字社	人全血液	人全血液	ヒト血液	日本	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
B型肝炎	医薬品機構医薬品情報HP	個別NAT検査でHBV-DNA陽性が判明した供血者血漿より製造された血液製剤及び血液分画製剤の自主回収に関する情報提供。	201	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人活性化プロテインC	プロテインC	ヒト血液		有効成分
			202	化学及血清療法研究所	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	ヒト血液		有効成分
			360	化学及血清療法研究所	1 乾燥弱毒生風しんワクチン 2 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	人血清アルブミン	ヒト血液		1,2 添加物/製造工程
			361	化学及血清療法研究所	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ペプシン処理人免疫グロブリンG分層	ヒト血液		有効成分
			413	化学及血清療法研究所	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	スルホ化人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国(ベニロン) 日本(献血ベニロン-1)	有効成分
			414	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人アンチトロンピン	アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
			492	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			526	化学及血清療法研究所	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	抗破傷風人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分
			575	化学及血清療法研究所	1 乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	1,2 製造工程
			B型肝炎	厚生労働省HP	平成15年8月、日赤は遡及調査を実施し、Hbc抗体陽性と判明した供血者の過去の供血に由来する新鮮凍結血漿の投与により、HBVの感染が疑われる第1例の報告を受け、公表した。	206	日本製薬	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素
207	日本製薬	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 抗HBs人免疫グロブリン				抗HBs抗体	ヒト血液	米国、 は現在製造していない	1,2 有効成分
208	日本製薬	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン				ペプシン処理ガンマグロブリン分層	ヒト血液	現在製造していない	有効成分
325	日本製薬	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン				抗D(Rho)抗体	ヒト血液	米国	有効成分
326	日本製薬	人免疫グロブリン				免疫グロブリンG	ヒト血液	日本	有効成分
469	日本製薬	乾燥人血液凝固第 因子複合体				血液凝固第 因子複合体	ヒト血液	日本	有効成分
639	日本製薬	1,2 ウロキナーゼ				人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 現在は製造していない	1,2 添加物
640	日本製薬	1,2,3 トロンピン				トロンピン	ヒト血液	日本、 は未発売	有効成分
641	日本製薬	1,2 人血清アルブミン 3,4 加熱人血漿たん白				人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 は現在製造していない	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、は現在製造していない	有効成分
			643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
C型肝炎	AABB Weekly Report. 2003; 9(40): 4-5	米国Kansas City Star紙によると、米国でALT試験をもっと早期に実現していたなら、30万例にのぼる輸血によるHCV感染は予防できただろうと報じた。またHCVについての包括的なルックバックは未だ実施していないことについても報じた。	469	日本製薬	乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子複合体	ヒト血液	日本	有効成分
			639	日本製薬	1,2 ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、現在は製造していない	1,2 添加物
			640	日本製薬	1,2,3 トロンピン	トロンピン	ヒト血液	日本、は未発売	有効成分
			641	日本製薬	1,2 人血清アルブミン 3,4 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、は現在製造している	有効成分
			642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、は現在製造していない	有効成分
			643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
C型肝炎	Clinical Infectious Diseases 2003; 37(1), 33	イタリアでヘロイン常用者を調査したところ、非注射薬物常用者に比べ注射薬物常用者のHCV抗体陽性率は高かった。	205	ベネシス	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン 3 ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国	1~3 有効成分
			303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血:米国、献血:日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
C型肝炎	Hepatology 2003; 38(4 suppl 1): 156A-818A, Abstracts of the 54th annual meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases	米国で血清中にHCV-RNAが検出されず、他に原因が特定できない長期の肝疾患患者57人の肝生検サンプルをRT-PCR法分析した結果、47人(70%)にHCV-RNAを認めた。この潜在性HCV患者の肝損傷の程度は、通常のHCV感染例より重症である。	588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
C型肝炎	Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes 2003; 33(3): p356-64	米国ニューヨーク市の麻薬常用者及び前歴者557人について、血清HCV抗体、HCV-RNA及びHCV遺伝子に関連する因子を評価した。	205	ベネシス	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン 3 ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国	1~3 有効成分
C型肝炎	Transfusion 2003; 43(10): 1433-41	米国で1970年代に行われた研究の保管検体5,387本を用いて、輸血後HCV感染が成立するために必要な供血者HCV-RNAの最小量を検討したところ、現在のHCV-RNA検査は、個別審査を実施しても感染性を有する全ての血液を排除することはできず、血清学的検査は今後も継続されるべきとの結論を得た。	358	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			402	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			403	日本赤十字社	人全血液	人全血液	ヒト血液	日本	有効成分
			469	日本製薬	乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子複合体	ヒト血液	日本	有効成分
			588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
			639	日本製薬	1,2 ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 現在は製造していない	1,2 添加物
			640	日本製薬	1,2,3 トロンピン	トロンピン	ヒト血液	日本、 は未発売	有効成分
			641	日本製薬	1,2 人血清アルブミン 3,4 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 は現在製造していない	有効成分
			642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 は現在製造していない	有効成分
			643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
C型肝炎	Transfusion 2003; 43(7): 953-7	スペインで4年以上抗体陰性でHCV-PCR陽性の無症候性キャリアからの輸血によりHCVに感染した症例の報告。	187	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			188	日本赤十字社	人免疫グロブリン	人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			189	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			206	日本製薬	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	有効成分
			207	日本製薬	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国、 は現在製造 していない	1,2 有効成分
			208	日本製薬	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ペプシン処理ガンマグロブリン分屑	ヒト血液	現在製造していない	有効成分
			224	日本赤十字社	洗浄人赤血球浮遊液	洗浄人赤血球浮遊	ヒト血液	日本	有効成分
			226	日本赤十字社	白血球除去人赤血球浮遊液	白血球除去人赤血球浮遊液	ヒト血液	日本	有効成分
			227	日本赤十字社	新鮮凍結人血漿	新鮮凍結人血漿	ヒト血液	日本	有効成分
			228	日本赤十字社	人血小板濃厚液	人血小板濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			229	日本赤十字社	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			325	日本製薬	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体	ヒト血液	米国	有効成分
			326	日本製薬	人免疫グロブリン	免疫グロブリンG	ヒト血液	日本	有効成分
			344	日本赤十字社	解凍人赤血球濃厚液	解凍人赤血球濃厚	ヒト血液	日本	有効成分
			358	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			402	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			403	日本赤十字社	人全血液	人全血液	ヒト血液	日本	有効成分
			469	日本製薬	乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子複合体	ヒト血液	日本	有効成分
			639	日本製薬	1,2 ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 現在は製造 していない	1,2 添加物
			640	日本製薬	1,2,3 トロンピン	トロンピン	ヒト血液	日本、 は未発売	有効成分
641	日本製薬	1,2 人血清アルブミン 3,4 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 は現在 製造して いない	有効成分			
642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 は現在製造 していない	有効成分			
643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分			
C型肝炎	Transfusion 2003; 43(7): 958-62	新しいHCV検査法でEIA法であるtrak-CIは、NATと比較して感度が高く、ウインドウピリオドのHCV感染診断についてNAT検査に代わる手段となる可能性が示唆された。	209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			212	バイエル薬品	pH4処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
C型肝炎	Transfusion 2003; 43(8): 1173-4	ドイツでNATミニプール検査で陰性だった血小板輸血でHCVに感染した事例があった。HCVのスクリーニングにNATミニプールの検査から各ドナー血漿の検査へ変更することの必要性を問われることとなった。	209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			212	バイエル薬品	pH4処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
C型肝炎	Transfusion 2003; 43(9s): S107-040G, Special Abstract Supplement 56th Annual Meeting	チンパンジーを用いて、ウィンドウ期にある血液でHCV感染が成立するために必要なウイルス量を検討した結果、個別NATで判定のボーダーラインとなる~1copy/20mlのウイルス量が必要であることが判明した。	588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
C型肝炎	Vox Sanguinis 2003; 85: 114-6	NAT検査に関わる主な6種類のHCV遺伝子型を用いて、血液製剤製造業者及び血液センターに対する外部品質評価研究を実施した結果、一部の施設で一部の遺伝子型を正しく識別できなかった。	209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			212	バイエル薬品	pH4処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			212	バイエル薬品	pH4処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
C型肝炎、HIV感染	Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes 2003; 33(3): p356-64	米国ニューヨーク市の麻薬常用者及び前歴者557人について、血清HCV抗体、HCV-RNA及びHCV遺伝子に関連する因子を評価した。	303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血:米国、献血:日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
E型肝炎	Current Topics in Microbiology and Immunology 2003; 185-216	HEVは世界中のブタでみられ、ヒトに感染しヒト-ヒト感染を起こす人畜共通感染症の可能性があるが、異種移植による感染はドナーブタへの適切なスクリーニングと厳格な飼育により防ぐことができる。	330	ベネシス	1 乾燥濃縮人アンチトロンピン 2 人ハプトグロビン	ヘパリン	ブタ小腸粘膜		1,2 製造工程
			614	ベネシス	1,2 人血清アルブミン 3 乾燥濃縮人アンチトロンピン 4 人ハプトグロビン	ヘパリン	ブタ小腸粘膜		1~4 製造工程
E型肝炎	Enfermedades Emergentes 2003; 5/2: 105-12	従来、E型肝炎は途上国に存在する食品を媒介する感染症と考えられていたが、先進国でもブタと相関する人畜共通感染症として、発想を転換すべきである。	356	日本シエーリング	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜	中国	有効成分
			577	日本シエーリング	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分
			581	アボットジャパン	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜ヘパリン	中国	有効成分
E型肝炎	Hepatology Research 2003; 27: 169-73	東京及び近郊の居住者1,033人の血清検体を用いて、HEV IgG抗体の保有率を検査したところ、肝臓病患者集団では15.4%、健常人で3.0%、幼児では0.4%で抗体が認められた。E型肝炎の汚染地域に渡航したHEV抗体陽性者はいないことから、感染ルートの解明が待たれる。	588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分



感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
E型肝炎	Journal of Clinical Microbiology 2003; 41(8): 3602-8	韓国において、ブタ血清試料からブタHEV分離株を3株同定したこと、供血者の18%は抗ブタHEV抗体陽性であったことなどから、ヒトとブタの間に無症候性HEV感染が流行している可能性が示唆された。	187	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			188	日本赤十字社	人免疫グロブリン	人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			189	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			224	日本赤十字社	洗浄人赤血球浮遊液	洗浄人赤血球浮遊	ヒト血液	日本	有効成分
			225	日本赤十字社	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ペプシン	ブタ胃	米国	製造工程
			226	日本赤十字社	白血球除去人赤血球浮遊液	白血球除去人赤血球浮遊液	ヒト血液	日本	有効成分
			227	日本赤十字社	新鮮凍結人血漿	新鮮凍結人血漿	ヒト血液	日本	有効成分
			228	日本赤十字社	人血小板濃厚液	人血小板濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			229	日本赤十字社	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			344	日本赤十字社	解凍人赤血球濃厚液	解凍人赤血球濃厚	ヒト血液	日本	有効成分
			358	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			402	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			403	日本赤十字社	人全血液	人全血液	ヒト血液	日本	有効成分
			588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分
589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分			
E型肝炎	Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性が示唆された。	147	北里研究所	コレラワクチン	ウシ心臓抽出物	ウシ心臓	米国	製造工程
			148	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 沈降精製百日せきワクチン 5 百日せきワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	ニュージーランド、オーストラリア	1~5 製造工程
			149	北里研究所	コレラワクチン	ビーフエキストラクト	ウシ筋肉	米国	製造工程
			150	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 沈降破傷風トキソイド 4 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 ジフテリアトキソイド 7 ジフテリア破傷風混合トキソイド 8 乾燥破傷風抗毒素 9 沈降精製百日せきワクチン 10 百日せきワクチン	スキムミルク	ウシ乳	米国	1~10 製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			151	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 沈降破傷風トキソイド 4 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 ジフテリアトキソイド 7 ジフテリア破傷風混合トキソイド 8 乾燥破傷風抗毒素 9 沈降精製百日せきワクチン 10 百日せきワクチン 11 ワイル病治療血清	ポリペプトン	ウシ乳	ポーランド、中国、ニュージーランド、中国	1~11製造工程
			152	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	ラクトアルブミン水解物	ウシ乳	オーストラリア、ニュージーランド	1~4 製造工程
			153	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ラクトピオン酸エリスロマイシン	ウシ乳	ニュージーランド、カナダ、米国、NZ、オーストラリア、NZ、カナダ、オーストラリア	1~4 製造工程
			154	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	ウシ胎児血清、新生仔牛血清	ウシ血液	ニュージーランド、製造中止のため不明	1~4 製造工程
			155	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	乳糖	ウシ乳	ニュージーランド、オランダ、ドイツ、ベルギー、ルクセンブルク、製造中止のため不明	1~4 添加物
			156	北里研究所	1 乾燥痘そうワクチン 2 痘そうワクチン	ウシ表皮	ウシ	日本	1,2 製造工程
			157	北里研究所	1 日本脳炎ワクチン 2 ジフテリアトキソイド 3 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ゼラチン	ウシ骨皮(骨髄を除く)	日本、ポーランド、中国、製造中止のため不明	製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			159	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	コレステロール	ヒツジ毛	ニュージーランド、オーストラリア、製造中止のため不明	1~4 製造工程
			164	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	トリブシン	ブタ膀胱	米国	1~4 製造工程
			165	北里研究所	1,2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 4 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 ジフテリアトキソイド 6 ジフテリア破傷風混合トキソイド	ヒツジ血清	ヒツジ血液	米国	製造工程
			167	北里研究所	1,2,3,4 日本脳炎ワクチン 5 不活化狂犬病ワクチン	マウス脳乳液	マウス脳	日本	製造工程
			195	日本ポリオ研究所	経口生ポリオワクチン	トリブシン	ブタ膀胱		製造工程
			248	阪大微生物病研究会	1 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 2 百日せきジフテリア混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 5 ジフテリア破傷風混合トキソイド 6 成人用沈降ジフテリアトキソイド	ブタ肉エキス	ブタの肉、脂肪	日本	製造工程
			249	阪大微生物病研究会	1 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんワクチン 5 乾燥弱毒生水痘ワクチン	トリブシン	ブタ膀胱	アメリカ、カナダ	1~6 製造工程
			262	テルモ	ヘパリンナトリウム	ヘパリン	ブタ小腸粘膜	米国、中国	有効成分
			330	ベネシス	1 乾燥濃縮人アンチトロンピン 2 人ハプトグロビン	ヘパリン	ブタ小腸粘膜		1,2 製造工程
			343	大洋薬品工業	ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム	ブタ	中国	有効成分
			344	日本赤十字社	解凍人赤血球濃厚液	解凍人赤血球濃厚	ヒト血液	日本	有効成分
			347	ワイス	ポルフィマーナトリウム	ポルフィマーナトリウム	ブタ血液	オランダ	有効成分
			356	日本シエリング	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜	中国	有効成分
			358	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			359	化学及血清療法研究所	乾燥ペブシン処理人免疫グロブリン	ペブシン	ブタ胃粘膜		製造工程
			402	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			403	日本赤十字社	人全血液	人全血液	ヒト血液	日本	有効成分
			562	武田薬品工業	1 乾燥まむしウマ抗毒素 2 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 3 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ペブシン	ブタ胃	アメリカ合衆国	1~3 製造工程
			563	武田薬品工業	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 弱毒生風しんワクチン原液	トリブシン	ブタ膀胱	アメリカ合衆国、カナダ	1~4 製造工程
			577	日本シエーリング	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分
			581	アボットジャパン	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜ヘパリン	中国	有効成分
			588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
			614	ベネシス	1,2 人血清アルブミン 3 乾燥濃縮人アンチトロンピン 4 人ハプトグロビン	ヘパリン	ブタ小腸粘膜		1~4 製造工程
E型肝炎	Journal of Infectious Diseases 2003; 188(6): 944	日本で急性E型肝炎を発症した2名の患者はイノシシの肝臓を生で摂取していた。日本において地域的なHEV感染が潜在している一因は、こうした食習慣による可能性がある。	344	日本赤十字社	解凍人赤血球濃厚液	解凍人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			358	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			402	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			403	日本赤十字社	人全血液	人全血液	ヒト血液	日本	有効成分
			588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
E型肝炎	ProMED 8/13, 2003 (毎日新聞 8/9, 2003)	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性が示唆された。	568	持田製薬	日局ヘパリンナトリウム	日局ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜		有効成分
E型肝炎	ProMED 8/27, 2003 (newindpress.com, news 8/27, 2003)	インド・ゴア州でE型肝炎が流行し、これまで患者123名が報告された。	348	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	HBs抗原たん白質(huGK-14細胞由来)	ヒト肝臓	日本	有効成分
E型肝炎	THE LANCET 2003; vol.362, August2, 371-3	日本の症例を通じて、シカ肉を生食することでE型肝炎が伝播する可能性を指摘。	147	北里研究所	コレラワクチン	ウシ心臓抽出物	ウシ心臓	米国	製造工程
			148	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 沈降精製百日せきワクチン 5 百日せきワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	ニュージーランド、オーストラリア	1~5 製造工程
			149	北里研究所	コレラワクチン	ビーフエキストラクト	ウシ筋肉	米国	製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			150	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 沈降破傷風トキソイド 4 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 ジフテリアトキソイド 7 ジフテリア破傷風混合トキソイド 8 乾燥破傷風抗毒素 9 沈降精製百日せきワクチン 10 百日せきワクチン	スキムミルク	ウシ乳	米国	1～10 製造工程
			151	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 沈降破傷風トキソイド 4 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 ジフテリアトキソイド 7 ジフテリア破傷風混合トキソイド 8 乾燥破傷風抗毒素 9 沈降精製百日せきワクチン 10 百日せきワクチン 11 ワイル病治療血清	ポリペプトン	ウシ乳	ポーランド、中国、ニュージーランド、中国	1～11 製造工程
			152	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	ラクトアルブミン水解物	ウシ乳	オーストラリア、ニュージーランド	1～4 製造工程
			153	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ラクトピオン酸エリスロマイシン	ウシ乳	ニュージーランド、カナダ、米国、NZ、オーストラリア、NZ、カナダ、オーストラリ	1～4 製造工程
			154	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	ウシ胎児血清、新生仔牛血清	ウシ血液	ニュージーランド、製造中止のため不明	1～4 製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	
			155	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	乳糖	ウシ乳	ニュー ジーランド、 オラン ダ、ドイツ、 ベルギー、 ルクセンブ ルク、 製 造中止のた め不明	1~4 添加 物	
			156	北里研究所	1 乾燥痘そうワクチン 2 痘そうワクチン		ウシ表皮	ウシ	日本	1,2 製造工 程
			157	北里研究所	1 日本脳炎ワクチン 2 ジフテリアトキソイド 3 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ 風しん混合ワクチン		ゼラチン	ウシ骨皮 (骨髄を 除く)	日本、 ポーラ ンド、中国、 製造中止の ため不明	製造工程
			159	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ 風しん混合ワクチン		コレステロール	ヒツジ毛	ニュージーラ ンド、オース トラリア、 製造中止の ため不明	1~4 製造 工程
			164	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ		トリブシン	ブタ脾臓	米国	1~4 製造 工程
			165	北里研究所	1,2 沈降精製百日せきジフテリア 破傷風混合ワクチン 3 沈降ジフテリア破傷風混合トキ ソイド 4 百日せきジフテリア破傷風混合 ワクチン 5 ジフテリアトキソイド 6 ジフテリア破傷風混合トキソイド		ヒツジ血清	ヒツジ血 液	米国	製造工程
			167	北里研究所	1,2,3,4 日本脳炎ワクチン 5 不活化狂犬病ワクチン		マウス脳乳液	マウス脳	日本	製造工程
			186	第一サントリー ファーマ	インターフェロンガンマ1a(遺伝 子組換え)		人血清アルブミン	ヒト血液		添加物
			187	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第 因子		乾燥濃縮人血液凝 固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			188	日本赤十字社	人免疫グロブリン		人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			189	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第 因子		人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			224	日本赤十字社	洗浄人赤血球浮遊液		洗浄人赤血球浮遊	ヒト血液	日本	有効成分
			226	日本赤十字社	白血球除去人赤血球浮遊液		白血球除去人赤血 球浮遊液	ヒト血液	日本	有効成分
			227	日本赤十字社	新鮮凍結人血漿		新鮮凍結人血漿	ヒト血液	日本	有効成分
			228	日本赤十字社	人血小板濃厚液		人血小板濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			229	日本赤十字社	乾燥ペブシン処理人免疫グロブリ ン		乾燥ペブシン処理人 免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			245	高田製薬	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			344	日本赤十字社	解凍人赤血球濃厚液	解凍人赤血球濃厚	ヒト血液	日本	有効成分
			358	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			402	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			403	日本赤十字社	人全血液	人全血液	ヒト血液	日本	有効成分
			588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
E型肝炎	Transfusion 2003; 43 Suppl: 288	2003年、日本で輸血によるHEV感染が疑われた初の症例の報告。	303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血:米 国、献血:日 本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1、2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有 人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精 製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1、2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗 破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリ	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1、2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細 胞培養)	ヒト腎細 胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製 造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1、2、3、4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日 本、 米 国	1~4 有効成分、5、6 添加物
			612	ベネシス	1、2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
E型肝炎	日本ウイルス学会第51回学術 総会2003 10/27-29 研究発 表抄録224	経時的に採取したフタ糞便中のHEV遺伝子を検出することにより、フタ小集団内でのHEVの動態を観察した。その結果、フタ集団内においてHEVは伝搬力の強いウイルスであること、また同一個体から複数のウイルスが排泄されることが示唆された。	562	武田薬品工業	1 乾燥まむしウマ抗毒素 2 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 3 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ペプシン	フタ胃	アメリカ合衆 国	1~3 製造 工程
			563	武田薬品工業	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 弱毒生風しんワクチン原液	トリプシン	フタ脾臓	アメリカ合衆 国、カナダ	1~4 製造 工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
E型肝炎	毎日新聞(2003/8/9)、Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性が示唆された。	572	化学及血清療法研究所	1 乾燥細胞培養痘そうワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 沈降破傷風トキソイド 4 ジフテリア破傷風混合トキソイド 5 ジフテリアトキソイド 6 コレラワクチン 7,8 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 9 破傷風トキソイド	ペプトン	ブタ胃	アメリカ、日本	1 添加剤、 2~9 製造工程
E型肝炎	読売新聞2003年6月4日	出荷時期に達したブタの90%にE型肝炎の感染歴がある。	147	北里研究所	コレラワクチン	ウシ心臓抽出物	ウシ心臓	米国	製造工程
			148	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 沈降精製百日せきワクチン 5 百日せきワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	ニュージーランド、オーストラリア	1~5 製造工程
			149	北里研究所	コレラワクチン	ビーフエキストラクト	ウシ筋肉	米国	製造工程
			150	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 沈降破傷風トキソイド 4 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 ジフテリアトキソイド 7 ジフテリア破傷風混合トキソイド 8 乾燥破傷風抗毒素 9 沈降精製百日せきワクチン 10 百日せきワクチン	スキムミルク	ウシ乳	米国	1~10 製造工程
			151	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 沈降破傷風トキソイド 4 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 ジフテリアトキソイド 7 ジフテリア破傷風混合トキソイド 8 乾燥破傷風抗毒素 9 沈降精製百日せきワクチン 10 百日せきワクチン 11 ワイル病治療血清	ポリペプトン	ウシ乳	ポーランド、中国、ニュージーランド、中国	1~11 製造工程
			152	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	ラクトアルブミン水解物	ウシ乳	オーストラリア、ニュージーランド	1~4 製造工程



感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			153	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ラクトビオン酸エリスロマイシン	ウシ乳	ニュージーランド、カナダ、米国、NZ、オーストラリア、NZ、カナダ、オーストラリ	1~4 製造工程
			154	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ウシ胎児血清、新生仔牛血清	ウシ血液	ニュージーランド、製造中止のため不明	1~4 製造工程
			155	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	乳糖	ウシ乳	ニュージーランド、オランダ、ドイツ、ベルギー、ルクセンブルク、製造中止のため不明	1~4 添加物
			156	北里研究所	1 乾燥痘そうワクチン 2 痘そうワクチン	ウシ表皮	ウシ	日本	1,2 製造工程
			157	北里研究所	1 日本脳炎ワクチン 2 ジフテリアトキソイド 3 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ゼラチン	ウシ骨皮(骨髄を除く)	日本、ポーランド、中国、製造中止のため不明	製造工程
			159	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	コレステロール	ヒツジ毛	ニュージーランド、オーストラリア、製造中止のため不明	1~4 製造工程
			164	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	トリブシン	ブタ膵臓	米国	1~4 製造工程
			165	北里研究所	1,2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 4 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 ジフテリアトキソイド 6 ジフテリア破傷風混合トキソイド	ヒツジ血清	ヒツジ血液	米国	製造工程
			167	北里研究所	1,2,3,4 日本脳炎ワクチン 5 不活化狂犬病ワクチン	マウス脳乳液	マウス脳	日本	製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
E型肝炎	読売新聞2003年8月2日	シカ肉を生食することで、E型肝炎が伝播する可能性についての報道。	186	第一サントリーファーマ	インターフェロンガンマ1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物
HIV感染	CDC MMWR, 11/28, 2003/52(47): 1145-8	米国内29州における1999-2002年のHIV/AIDS調査結果からHIV診断の傾向分析。HIV診断例は102,590例で、男性が約7割であった。また、特に男性、同性愛者、非ラテンアメリカ系白人、ラテンアメリカ系で増加していることが判明した。	583	日本シエリング	インターフェロンベータ1b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
HIV感染	ProMED 10/4, 2003 (朝日新聞10/2, 2003)	厚生労働省はNAT検査導入後初の検査をすり抜けたと思われる輸血により、HIVに感染した可能性のある症例を発表。	537	シエリング・ブラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
HIV感染	日本感染症学会雑誌 2003; 77(9): 765	日本国内で初めてHIV-2感染症例が遺伝学的に確認された。本症例は韓国国内で異性間接触により感染したと推定される。	420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			469	日本製薬	乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子複合体	ヒト血液	日本	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			639	日本製薬	1,2 ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 現在は製造していない	1,2 添加物
			640	日本製薬	1,2,3 トロンピン	トロンピン	ヒト血液	日本、 は未発売	有効成分
			641	日本製薬	1,2 人血清アルブミン 3,4 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 は現在製造していない	有効成分
642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 は現在製造していない	有効成分			
643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分			
HIV感染、B型肝炎、エルシニア感染、肺炎球菌性敗血症	平成15年度第3回薬事分科会血液事業部会運営委員会資料	赤血球、血小板等の輸血を介して、HIV感染、HBV感染、エルシニア感染、肺炎球菌の感染による敗血症について、日本赤十字社から報告を受けたが、事実関係等については調査などを実施しているところである。	608	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんおたぶくかぜ風しん混合ワクチン	ヒト血清アルブミン	ヒト血液	不明	製造工程
アメリカトリパノソーマ症(シャーガス病)	AABB Weekly Report. 2003; 9(43): 3	米国赤十字社は、FDAの認可が下り次第、すべての献血血液においてシャーガス病のスクリーニング検査を実施することを計画。	514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
アメリカ・トリパノソーマ症(シャーガス病)	Emerging Infectious Diseases 2003; 9(12): 1558-62	米国でアメリカ・トリパノソーマ症(シャーガス病)の検査で、通常行われている血清学的検査では特異的IgG抗体陰性であった80人中、12人がPCR法で陽性になった。	589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
アメリカ・トリパノソーマ症(シャーガス病)	ProMED 11/23, 2003 (New York Times 11/22, 2003)	米国における輸血後のシャーガス病感染の可能性についての記事。米国ではシャーガス病は稀な疾患で、輸血または臓器移植によるシャーガス病感染者は過去に米国及びカナダで9例のみであるが、専門家は輸血患者数百名で不顕性感染している可能性がある」と指摘している。	394	中外製薬	インターフェロンアルファ2a(遺伝子組換え)	ヒト血清アルブミン	ヒト血清	スイス	添加物
			436	日本ケミカルリサーチ	ミリモスチム	ヒト血清アルブミン	ヒト血液		添加物
			529	アベンティスファーマ	人C1-インアクチベーター	人C1-インアクチベーター	ヒト血液	米国、ドイツ、オースト	有効成分
			530	アベンティスファーマ	ペプシン処理人免疫グロブリンG	ペプシン処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国、ドイツ、オースト	有効成分
			537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			583	日本シエーリング	インターフェロンベータ1b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			647	アベンティスファーマ	1,2,3 人血清アルブミン 4 人血液凝固第 因子 5,6 フィブリノゲン、ヒト血液凝固第 因子、アプロチニン液、日局トロンピン	人血清アルブミン	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	1~3 有効成分、4~6 添加物
アメリカ・トリパノソーマ症(シャーガス病)	ProMED 11/26, 2003 (The Globe and Mail 11/26, 2003)	カナダで輸血によりシャーガス病に感染する可能性について、カナダ当局が評価中である。	394	中外製薬	インターフェロンアルファ2a(遺伝子組換え)	ヒト血清アルブミン	ヒト血清	スイス	添加物
アメリカ・トリパノソーマ症(シャーガス病)	ProMED 11/27, 2003 (Canadian Broadcasting Corporation 11/26, 2003)	輸血によるシャーガス病感染者は、米国で5名、カナダで2名である。カナダ例の献血ドナーはラテンアメリカへの渡航歴や居住歴があった非ラテンアメリカ系住民で、発病の既往はなく献血時も症状がなかった。	394	中外製薬	インターフェロンアルファ2a(遺伝子組換え)	ヒト血清アルブミン	ヒト血清	スイス	添加物
			537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
インフルエンザ	Canada Communicable Disease Report 2003; 8./15 volume 29 ACS-4	2003年2月、香港で鳥インフルエンザA型(H5N1)が、オランダで鳥インフルエンザA型(H7N7)が、ヒトに感染した。WHOはガイドラインの作成及び調査強化勧告を実施した。	356	日本シエーリング	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜	中国	有効成分
			577	日本シエーリング	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			581	アボットジャパン	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜ヘパリン	中国	有効成分
インフルエンザ	Dtsch. Med. Wochenschr 2003; 128(27): 1467	中部ヨーロッパ及び香港における鳥インフルエンザ発生状況から、鳥インフルエンザの変異により新型インフルエンザウイルスが発生する可能性を示唆。	294	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマー1a(遺伝子組換え)	リゾチーム	ニワトリ卵白	ドイツ、オランダ	1,2 製造工程
インフルエンザ	OIE HP Messages, 12/17 2003	2003年12月、韓国で高病原性鳥インフルエンザA型(H5N1)が発生、プロイラー、鶏卵等が処分された。	518	大塚製薬	インターフェロンアルファ(BALL-1)	ふ化鶏卵(センダイウイルスを増殖)	鶏卵		製造工程
インフルエンザ	ProMED 12/24, 2003 (Reuters Health eLine 12/22, 2003)	2003年12月、韓国で高病原性鳥インフルエンザA型(H5N1)が発生、プロイラー、鶏卵等が処分された。韓国では、H5N1のヒトからヒトへの伝播は確認されていない。	599	北里研究所	1,2 インフルエンザHAワクチン 3 インフルエンザワクチン	発育鶏卵	発育鶏卵	1, 2 日本、3 不明	1~3 製造工程
			600	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 3 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	ニワトリ胚初代培養細胞	孵化鶏卵	1, 2 日本、3 不明	1~3 製造工程
インフルエンザ	ProMED 9/28, 2003 (Eurosurveillance Weekly, vol.7(39), 9/25, 2003)	2003年9月、デンマークにおいて、新型鳥型インフルエンザウイルスA型H5N7がアヒルで初めて確認された。アヒル全個体が処分された。	599	北里研究所	1,2 インフルエンザHAワクチン 3 インフルエンザワクチン	発育鶏卵	発育鶏卵	1, 2 日本、3 不明	1~3 製造工程
			600	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 3 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	ニワトリ胚初代培養細胞	孵化鶏卵	1, 2 日本、3 不明	1~3 製造工程
インフルエンザ	ProMED-mail 1/13, 2004 (Reuters Alert 1/14, 2004)	ベトナムで新たに2名の鳥インフルエンザ疑い患者が発生、その感染伝播にブタの関与が疑われた。	477	帝国臓器製薬	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	カリジノゲナーゼ	ブタ膀胱	中国	有効成分
インフルエンザ	ProMED-mail 1/8, 2004 (The Australian 1/8, 2004)	ベトナムで小児12名が原因不明の呼吸器疾患に罹患、7名が入院中に死亡した。保健当局はその病因からSARSを除外、インフルエンザA型ウイルスであることを示唆した。	611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
インフルエンザ	The Venterinary Record 2003; 9/27: 408	1998年7月から現在まで台湾の各養豚場におけるインフルエンザ流行調査を実施している。最も検出率が高かったのはH1N1、H3N2であった。公衆衛生面から人畜共通感染症としてのインフルエンザのヒトへの流行が懸念されるため、今後さらなる調査が必要である。	598	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	トリブシン	ブタ膀胱	1, 2, 3 米国、カナダ、4 不明	1~4 製造工程
インフルエンザ	WHO HP 1/14, 2004	2003年10月以来、ベトナムのハノイでは14人が重症の肺炎症状を呈し12人が死亡、そのうち3人が遺伝子解析の結果、鳥インフルエンザH5N1感染により死亡したことが判明した。	599	北里研究所	1,2 インフルエンザHAワクチン 3 インフルエンザワクチン	発育鶏卵	発育鶏卵	1, 2 日本、3 不明	1~3 製造工程
			600	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 3 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	ニワトリ胚初代培養細胞	孵化鶏卵	1, 2 日本、3 不明	1~3 製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
インフルエンザ	WHO HP CSR 1/29, 2004	タイ及びベトナムでの高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)患者の推定症例数。総症例数11(タイ3、ベトナム8)、うち死亡例数8(タイ2、ベトナム6)。	611	ベネシス	1、2、3、4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 米 国	1~4 有効成分、5、6 添加物
			612	ベネシス	1、2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米 国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
インフルエンザ	WHO HP Disease Outbreak News 1/13, 2004	ベトナムの南部2ヶ所で高病原性鳥インフルエンザが発生、インフルエンザウイルスH5N1が確認された。現在まで4万羽の鶏が死亡し、3万羽が予防措置として殺処分された。ハノイの病院に入院している大人1名、子供2名のインフルエンザ患者からインフルエンザウイルスH5N1が確認された。	523	日立化成工業	抗アレルギー性物質	アレルギー性疾患患者から抽出、精製した抗アレルギー性物質	ヒト尿	日本	有効成分
インフルエンザ	WHO HP Disease Outbreak News 1/14, 2004	ベトナムで発生した高病原性鳥インフルエンザH5N1株について、遺伝子解析を実施した結果、ヒトの遺伝子を獲得していなかったことが確認された。ベトナムでは、アヒルとブタに鳥インフルエンザH5N1が感染したとの報告があった。	523	日立化成工業	抗アレルギー性物質	アレルギー性疾患患者から抽出、精製した抗アレルギー性物質	ヒト尿	日本	有効成分
			577	日本シエーリング	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共 和国	有効成分
			581	アポットジャパン	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜へパリン	中国	有効成分
インフルエンザ	WHO HP Disease Outbreak News 1/15, 2004	WHOは鳥インフルエンザに関するファクトシートを公表。ウイルス変異のリスクについての情報提供等が行われた。	523	日立化成工業	抗アレルギー性物質	アレルギー性疾患患者から抽出、精製した抗アレルギー性物質	ヒト尿	日本	有効成分
インフルエンザ	WHO Weekly Epidemiological Record 2004; No.7, February 13: 65-76	WHOはタイ、ベトナムで発生した高病原性鳥インフルエンザのヒトへの感染23症例の概括とタイにおける高病原性鳥インフルエンザ症例5例の概要を報告した。	594	日本臓器製薬	ワクシニアウイルス接種鶏炎症皮膚抽出液	膜尿管	発育鶏卵		製造工程
インフルエンザ	WHO WPRO/Public Press Release 1/13, 2004	WHOはベトナム・ハノイ地域で発生した3例の高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)の診断検査の確定を得た。ベトナムでは合計14例の重症呼吸器疾患患者が検知、うち小児患者11例と成人患者1例の合計12例が死亡したが、今のところ、これらの全てが高病原性鳥インフルエンザである証拠はない。	611	ベネシス	1、2、3、4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 米 国	1~4 有効成分、5、6 添加物
			612	ベネシス	1、2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米 国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
インフルエンザ	日本経済新聞2004年1月13日	2003年12月28日から2004年1月13日にかけて山口県の採卵鶏農場において家畜伝染病に指定されている高病原性鳥インフルエンザの発生、6000羽が死亡した。国内では79年ぶりの発生で、DNA鑑定の結果、香港や韓国で流行したものと同一型だった。	599	北里研究所	1、2 インフルエンザHAワクチン 3 インフルエンザワクチン	発育鶏卵	発育鶏卵	1、2 日本、3 不明	1~3 製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			600	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 3 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	ニワトリ胚初代培養細胞	孵化鶏卵	1、2 日本、 米国、3 不明	1~3 製造工程
インフルエンザ	農林水産省HP 平成16年1月12日プレスリリース	山口県の採卵鶏農場において家畜伝染病に指定されている高病原性鳥インフルエンザの発生があった。国内では1925年以来、79年ぶりの発生である。	523	日立化成工業	抗アレルギー性物質	アレルギー性疾患患者から抽出、精製した抗アレルギー性物質	ヒト尿	日本	有効成分
ウイルス感染	Announcements of the Natl. Advisory Committee 'Blood' of German Federal Ministry of Health and Social Security 10/1 2003	ドイツ連邦保健・社会保障省の国立血液諮問委員会の声明によると、輸血用血液成分製剤及び分画用血漿の出荷基準のうち、ALT値による判定を中止することのことである。	514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1、2、3、4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 米国	1~4 有効成分、5、6 添加物
			612	ベネシス	1、2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
ウイルス感染	EMA/CPMP/BWP/1793/02; 2003	EMAのCPMPは、ヒト生物学的製品における血漿の使用に関するガイドラインを示した。	323	ベネシス	フィブリノゲン加第 因子	アプロチニン液	ウシ肺	米国、ウルグアイ	有効成分
			367	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国	製造工程
ウイルス感染	EMA/CPMP/BWP/5180/03; 10/22, 2003	EMAのCPMPは、血漿由来医薬品から潜在的ウイルス感染のリスク評価を行う際に製造者が従うべき原則及び血漿由来医薬品の審査基準の概説を示したガイダンスを公表した。	360	化学及血清療法研究所	1 乾燥弱毒生風しんワクチン 2 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	人血清アルブミン	ヒト血液		1、2 添加物/製造工程
			361	化学及血清療法研究所	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ペプシン処理人免疫グロブリンG分屑	ヒト血液		有効成分
			413	化学及血清療法研究所	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	スルホ化人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国(ベニロン) 日本(献血ベニロン-I)	有効成分
			414	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人アンチトロンピン	アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
			469	日本製薬	乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子複合体	ヒト血液	日本	有効成分
			492	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			526	化学及血清療法研究所	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	抗破傷風人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分
			575	化学及血清療法研究所	1 乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	1、2 製造工程
			639	日本製薬	1、2 ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 現在は製造していない	1、2 添加物
			640	日本製薬	1、2、3 トロンピン	トロンピン	ヒト血液	日本、 は未発売	有効成分
641	日本製薬	1、2 人血清アルブミン 3、4 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 は現在製造していない	有効成分			

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 は現在製造していない	有効成分
			643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
ウイルス感染	European Commission Public Health & Risk Assessment, C7/SANCO/SCMPMD/2003/0025 final D(03)	EUにおける、輸血及び移植に使用される血液の安全性に関連した節足動物媒介感染症(WNVを含む)の脅威についての医薬品・医療用具科学委員会の意見。脅威を除くためには、ドナー問診、不活化技術の導入、NAT等スクリーニング技術の導入等が考えられる。	514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
ウイルス感染	London, 18 June 2003 EMEA/CPMP/ BWP/ 1793/ 02	CPMPIはヒト生物由来医薬品製造過程におけるウシ血清使用のためのガイダンスを発表。	173	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ蛋白加水分解物	ウシ脾臓、ウシ血液	米国	製造工程
			174	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ脾臓	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程
			175	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			176	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシリポ蛋白質	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			177	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、カナダ、オーストラリア	製造工程
			178	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシアボトランスフェリン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
ウイルス感染(MPV)	JAMA 2003; 290(16): 2112	オランダの研究者により2001年に発見されたMPV(human Metapneumovirus)は、毎年数千人の乳児の入院と成人における多くの風邪の原因である可能性があることが発見された。	364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米国	1~3 有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
ウイルス感染 (SV40)	Health Canada Population and Public Health Branch 2003, 7/1	1955年から1962年の間にカナダ保健省で製造されたポリオワクチンがSV40に汚染されていた。	613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			187	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			188	日本赤十字社	人免疫グロブリン	人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			189	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			224	日本赤十字社	洗浄人赤血球浮遊液	洗浄人赤血球浮遊	ヒト血液	日本	有効成分
			226	日本赤十字社	白血球除去人赤血球浮遊液	白血球除去人赤血球浮遊液	ヒト血液	日本	有効成分
			227	日本赤十字社	新鮮凍結人血漿	新鮮凍結人血漿	ヒト血液	日本	有効成分
			228	日本赤十字社	人血小板濃厚液	人血小板濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			229	日本赤十字社	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			344	日本赤十字社	解凍人赤血球濃厚液	解凍人赤血球濃厚	ヒト血液	日本	有効成分
			358	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			402	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
403	日本赤十字社	人全血液	人全血液	ヒト血液	日本	有効成分			
ウイルス感染 (ニパウイルス)	American Journal of Pathology 2003; 163(5): 2127-37	ニパウイルスをゴールデンハムスターの鼻腔内または腹腔内に投与すると、それぞれ9-29日、5-9日に死亡した。ゴールデンハムスターはニパウイルス感染症のモデル動物として提唱される。	519	大塚製薬	インターフェロンアルファ (BALL-1)	ハムスター (ヒトリンパ芽球細胞を皮下で増殖)	ハムスター		製造工程
ウイルス感染 (ニパウイルス)	Antiviral Research 2003; 57: 113-9	マレーシアにおけるウイルス性脳炎の原因ウイルスであるニパウイルスは、ブタ間、ブタからヒトや他の動物に感染する致死率の高いウイルスであり、パイオテロとして利用される可能性がある。	577	日本シエーリング	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分
			581	アボットジャパン	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜ヘパリン	中国	有効成分
ウイルス感染 (不明)	NDTV.com, 9/20 2003	インドで過去3年間モンスーンの季節に原因不明の感染症で総数60名以上が死亡、専門家が調査に取り組んでいる。	186	第一サントリーファーマ	インターフェロンガンマ1a (遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物
ウイルス感染 (不明)	OIE Diseases Information, 2/27 2004; Vol.17-No.9	オーストラリアの養豚場で発生した原因不明の疾患は、ウイルス感染によるPMC (ブタ心筋炎) によると思われるが、この疾患の正確な原因は未だわかっていない。	615	伊藤ライフサイエンス	バルナバリンナトリウム	バルナバリンナトリウム	ブタ腸粘膜	アルゼンチン	有効成分
ウイルス感染 (不明)	ProMED 12/5, 2003 (Jornal do Tocantins 11/28, 2003)	ブラジルTocantins州のAraguacema市とPium市などで、 Dengue熱に類似したウイルス性感染症と考えられる疾患による患者288例が報告された。	584	エーザイ	セクレチン	セクレチン	ブタ十二指腸		有効成分
ウイルス感染 (不明)	ProMED 2/21, 2004 (BBC and Radio News Australia 2/13, 2004)	オーストラリアの養豚場で原因不明の疾患が発生した。この疾患により不確定数のブタ胎児と子豚が死亡したが、New South Wales州代理副主任獣医官は、原因ウイルスは成長したブタやヒトには感染しないと述べた。	615	伊藤ライフサイエンス	バルナバリンナトリウム	バルナバリンナトリウム	ブタ腸粘膜	アルゼンチン	有効成分
ウイルス感染 (不明)	ProMED 8/28, 2003 (Newsday Trinidad and tobago, 8/23 2003)	2003年、トリニダードトバゴで Dengue熱とともに原因不明のウイルス性疾患が発生した。	291	塩野義製薬	1 テセロイキン (遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマ-1a (遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	1,2 添加物



感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
ウイルス感染(不明)	ProMED-mail 8/27, 2003 (Newsday Trinidad and tobago, 8/23 2003)	2003年、トリニダードパコでデング熱とともに原因不明のウイルス性疾患が発生した。	303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血:米 国、献血:日 本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有 人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精 製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗 破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリ	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細 胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製 造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日 本、 米 国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米国	1~3 有効成分
613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分			
ウイルス性肝炎、HIV	ProMED 7/31, 2003 (El Tiempo, 7/29 2003)	日本赤十字社はウイルス性肝炎等感染者がウインドウ期に献血した6419本の血液由来の血液製剤の遡及調査を実施。	291	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマー 1a(遺 伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	1,2 添加物
ウイルス性気道感染(hMPV)	Pediatric Infectious Disease Journal 2003; 22: 923-4	オランダの研究者により分離されたhMPV(human Metapneumovirus)は5歳未満の児童の呼吸器に感染し、呼吸器疾患を引き起こす新型ウイルスであり、院内感染の原因となることが確認されている。	358	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			402	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			403	日本赤十字社	人全血液	人全血液	ヒト血液	日本	有効成分
			588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
ウイルス性下痢(BVDV)	Biologicals 2003; 7/17, In Press,	ウシ胎児血清がウシウイルス性下痢症(BVDV)汚染のリスクを完全に回避するためには、RNA検出のみでは不十分で、感染性・非感染性の識別には組織培養法のみが有効である。	147	北里研究所	コレラワクチン	ウシ心臓抽出物	ウシ心臓	米国	製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			148	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 沈降精製百日せきワクチン 5 百日せきワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	ニュージーランド、オーストラリア	1~5 製造工程
			149	北里研究所	コレラワクチン	ビーフエキストラクト	ウシ筋肉	米国	製造工程
			150	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 沈降破傷風トキソイド 4 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 ジフテリアトキソイド 7 ジフテリア破傷風混合トキソイド 8 乾燥破傷風抗毒素 9 沈降精製百日せきワクチン 10 百日せきワクチン	スキムミルク	ウシ乳	米国	1~10 製造工程
			151	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 沈降破傷風トキソイド 4 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 ジフテリアトキソイド 7 ジフテリア破傷風混合トキソイド 8 乾燥破傷風抗毒素 9 沈降精製百日せきワクチン 10 百日せきワクチン 11 ワイル病治療血清	ポリペプトン	ウシ乳	ポーランド、中国、ニュージーランド、中国	1~11 製造工程
			152	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	ラクトアルブミン水解物	ウシ乳	オーストラリア、ニュージーランド	1~4 製造工程
			153	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ラクトビオン酸エリスロマイシン	ウシ乳	ニュージーランド、カナダ、米国、NZ、オーストラリア、NZ、カナダ、オーストラリア	1~4 製造工程
			154	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ウシ胎児血清、新生仔牛血清	ウシ血液	ニュージーランド、製造中止のため不明	1~4 製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			155	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	乳糖	ウシ乳	ニュー ジーランド、 オラン ダ、ドイツ、 ベルギー、 ルクセンブ ルク、 製 造中止のた め不明	1~4 添加 物
			156	北里研究所	1 乾燥痘そうワクチン 2 痘そうワクチン	ウシ表皮	ウシ	日本	1,2 製造工 程
			157	北里研究所	1 日本脳炎ワクチン 2 ジフテリアトキソイド 3 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ゼラチン	ウシ骨皮 (骨髄を 除く)	日本、 ポーラ ンド、中国、 製造中止の ため不明	製造工程
			164	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	トリブシン	ブタ膀胱	米国	1~4 製造 工程
ウイルス性髄膜炎	AccessNorthGa.com 8/5, 2003	米国ジョージア州でウイルス性髄膜炎が流行し、患者が例年の2倍となっている。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
ウイルス性脳炎(ニパウイルス)	Antiviral Research 2003; 57: 113-9	マレーシアにおけるウイルス性脳炎の原因ウイルスであるニパウイルスは、ブタ間、ブタからヒトや他の動物に感染する致死率の高いウイルスであり、パイオテロとして利用される可能性がある。	356	日本シエーリング	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜	中国	有効成分
ウイルス性肺炎(不明)	ProMED 12/15, 2003 (EID Weekly Updates; Emerging and Reemerging Infectious Diseases, Region of Americas, Vol.1, No.23, 12/11, 2003)	2003年9月25日~11月28日、コロンビアで重症急性呼吸器疾患患者38名がコロンビア国立保健研究所に報告された。このうち、13名が死亡したが、患者のうち2名からインフルエンザA型ウイルス、2名からパラインフルエンザウイルス、1名からRSウイルスとパラインフルエンザ1型ウイルス、1名からRSウイルスとインフルエンザA型ウイルスが検出された。	584	エーザイ	セクレチン	セクレチン	ブタ十二指腸		有効成分
ウイルス性肺炎(不明)	ProMED 12/6, 2003 (Infectious and Parasitological Diseases News 12/3, 2003)	ロシア・モスクワ大学の学生で、原因不明の疾患が流行。暫定的データによれば、流行の原因はインフルエンザの重症型による肺炎の可能性が高いようである。	584	エーザイ	セクレチン	セクレチン	ブタ十二指腸		有効成分
ウイルス性脳炎(Chandipura)	India press July.29 2003	インドで小児250名の原因不明の死亡について、ラブドウイルスの1種であるChandipuraと特定した。	147	北里研究所	コレラワクチン	ウシ心臓抽出物	ウシ心臓	米国	製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			148	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 沈降精製百日せきワクチン 5 百日せきワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	ニュージーランド、オーストラリア	1~5 製造工程
			149	北里研究所	コレラワクチン	ビーフエキストラクト	ウシ筋肉	米国	製造工程
			150	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 沈降破傷風トキソイド 4 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 ジフテリアトキソイド 7 ジフテリア破傷風混合トキソイド 8 乾燥破傷風抗毒素 9 沈降精製百日せきワクチン 10 百日せきワクチン	スキムミルク	ウシ乳	米国	1~10 製造工程
			151	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 沈降破傷風トキソイド 4 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 ジフテリアトキソイド 7 ジフテリア破傷風混合トキソイド 8 乾燥破傷風抗毒素 9 沈降精製百日せきワクチン 10 百日せきワクチン 11 ワイル病治療血清	ポリペプトン	ウシ乳	ポーランド、中国、ニュージーランド、中国	1~11 製造工程
			152	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	ラクトアルブミン水解物	ウシ乳	オーストラリア、ニュージーランド	1~4 製造工程
			153	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ラクトビオン酸エリスロマイシン	ウシ乳	ニュージーランド、カナダ、米国、NZ、オーストラリア、NZ、カナダ、オーストラリア	1~4 製造工程
			154	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	ウシ胎児血清、新生仔牛血清	ウシ血液	ニュージーランド、製造中止のため不明	1~4 製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			155	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	乳糖	ウシ乳	ニュー ジーランド、 オラン ダ、ドイツ、 ベルギー、 ルクセンブ ルク、 製 造中止のた	1~4 添加 物
			156	北里研究所	1 乾燥痘そうワクチン 2 痘そうワクチン	ウシ表皮	ウシ	日本	1,2 製造工 程
			157	北里研究所	1 日本脳炎ワクチン 2 ジフテリアトキソイド 3 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ゼラチン	ウシ骨皮 (骨髄を 除く)	日本、 ポーラ ンド、中国、 製造中止の ため不明	製造工程
			158	北里研究所	1 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 ジフテリアトキソイド 5 ジフテリア破傷風混合トキソイド	ウマ血清	ウマ血液	米国	製造工程
			159	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	コレステロール	ヒツジ毛	ニュージーラ ンド、オース トラリア、 製造中止の ため不明	1~4 製造 工程
			160	北里研究所	1,2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 沈降精製百日せきワクチン 5 百日せきワクチン	ウマ脱繊維血	ウマ血液	ニュージーラ ンド	製造工程
			161	北里研究所	1 乾燥破傷風抗毒素 2 乾燥まむし抗毒素 3 ワイル病治療血清 4 乾燥ジフテリア抗毒素	ウマ血漿	ウマ血液	日本	1~4 製造 工程
			164	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	トリブシン	ブタ臓	米国	1~4 製造 工程
			165	北里研究所	1,2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 4 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 ジフテリアトキソイド 6 ジフテリア破傷風混合トキソイド	ヒツジ血清	ヒツジ血 液	米国	製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分			
ウイルス性脳炎 (Chandipura)	ProMED 7/30, 2003 (India Press 7/29, 2003)	インドで小児250名の原因不明の死亡について、ラプトウイルスの1種であるChandipuraと特定した。	349	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗モンテブラーゼモノクローナル抗体	マウス腹水		製造工程			
			350	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	遺伝子組換え細胞	ベビーハムスターの腎臓		製造工程			
			351	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	カナダ、米国、オーストラリア、NZ、コスタリカ、ニカラグア、エルサルバドル、パナマ又はウルグ	製造工程			
			352	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	プラスミン	ウシ血清	米国、オーストラリア又はニュージーランド	製造工程			
			353	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗不純蛋白質抗体	ウサギ血清		製造工程			
			354	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓		製造工程			
			355	エーザイ	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜		有効成分			
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1, 2 有効成分			
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分			
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程			
			584	エーザイ	セクレチン	セクレチン	ブタ十二指腸		有効成分			
			ウイルス性脳炎 (Chandipura)	ProMED-mail 7/30, 2003 (India Press 7/29, 2003)	インドで小児250名の原因不明の死亡について、ラプトウイルスの1種であるChandipuraと特定した。	205	ベネシス	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン 3 ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国	1~3 有効成分
						303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
						304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン				人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血・米国、献血・日本	有効成分			
327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子				トロンピン	ヒト血液	日本	1, 2 有効成分			
328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン				抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分			
329	ベネシス	ウリナスタチン注射液				ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分			
331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子				凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1, 2 有効成分			
420	ベネシス	人ハプトグロビン				人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分			
514	ベネシス	ウロキナーゼ				精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分			
515	ベネシス	ウロキナーゼ				人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物			

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
ウイルス性脳炎 (La Crosse脳炎 ウイルス)	ABC News online 9/7, 2003	米国バージニア州の小児2名が、ウェストバージニア州でLa Crosse脳炎に感染、発症した。La Crosse脳炎ウイルスは、蚊によって媒介される。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
ウエストナイルウイルス感染	AABB Weekly Report. 2003; 9(24)	2003年7月に米国で開始した供血血液のプールNAT検査により、ネブラスカ州では9件、コロラド州では10件のWNV陽性例が確認された。	187	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			188	日本赤十字社	人免疫グロブリン	人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			189	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			224	日本赤十字社	洗浄人赤血球浮遊液	洗浄人赤血球浮遊液	ヒト血液	日本	有効成分
			226	日本赤十字社	白血球除去人赤血球浮遊液	白血球除去人赤血球浮遊液	ヒト血液	日本	有効成分
			227	日本赤十字社	新鮮凍結人血漿	新鮮凍結人血漿	ヒト血液	日本	有効成分
			228	日本赤十字社	人血小板濃厚液	人血小板濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			229	日本赤十字社	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			344	日本赤十字社	解凍人赤血球濃厚液	解凍人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			358	日本赤十字社	抗HBS人免疫グロブリン	抗HBS人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			402	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			403	日本赤十字社	人全血液	人全血液	ヒト血液	日本	有効成分
ウエストナイルウイルス感染	AABB Weekly Report. 2003; 9/26	米国CDCは、輸血に関連したWNV感染例2例を確認。これらの症例は各々単一の献血由来の血液製剤を使用した後に、検査陽性が現れた症例であった。2例とも脳炎を発症したが軽快した。	537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
ウエストナイルウイルス感染	AABB Weekly Report. 2003; 9/26	2002年8月、米国FDA及びCDCが地方保健当局及び血液関連機関に対して、輸血によるウエストナイル感染に注意するよう通知後、輸血感染が疑われる症例報告がなされるようになったため、2003年4月15日までのCDC追跡調査の結果、輸血感染が疑われる患者は61名、そのうち確定症例は23名であった。	537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
ウエストナイルウイルス感染	American Journal of Ophthalmology 2003; 136: 733-5	WNVの子宮内伝播により、新生児に先天性網脈絡膜癒痕及び中枢神経系奇形を起こした最初の症例報告。	348	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	HBs抗原たん白質(huGK-14細胞由来)	ヒト肝臓	日本	有効成分
ウエストナイルウイルス感染	Ann Thorac Surg 2003; 76: 605-7	2002年、米国オハイオ州クリーブランドで冠動脈バイパス手術時の赤血球輸血により感染したWNV脳炎で死亡した症例の報告。	209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			212	バイエル薬品	pH4処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
ウエストナイルウイルス感染	Canadian Blood Services Customer Letter #2003-21 9/3, 2003	カナダ・サスカチュワン州ではWNV感染症が高率に見られたため、カナダ血液サービス(CBS)は2003年9月2日よりサスカチュワン州のすべての血液ドナーについて、WNV-RNAスクリーニングをミニプールNATから個別NATに変更した。	303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血:米国、献血:日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1~3 有効成分			
613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分			
ウエストナイルウイルス感染	Canadian Blood Services Customer Letter #2003-24 9/24, 2003	カナダ・CBCでは、2003年9月2日よりサスカチュワン州のすべての血液ドナーについて、WNV-RNAスクリーニングをミニプールNATから個別NATに変更したが、開始後3週間、WNVは検出されなかった。CBSはWNV感染症のピークは過ぎたと判断し、9月23日にミニプールNATに戻した。	303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血:米国、献血:日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分



感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリ	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
ウエストナイルウイルス感染	CDC HP October 22, 2003	2003年10月22日現在の米国内での2003年WNV感染者数の情報。症例数7386例、うち死亡155例。	209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			212	バイエル薬品	pH4 処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
ウエストナイルウイルス感染	CDC HP West Nile Virus September 29, 2003	2003年9月29日現在の米国内での2003年WNV感染者数の情報。症例数5124例、うち死亡98例。	303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血:米国、献血:日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリ	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 10/24, 2003/52(42); 1017-9	米国ウイスコンシン州保健当局は、七面鳥飼育農場で働く従業員2名のWNV発症者を調査した結果、この農場の従業員と七面鳥がWNVの抗体陽性率が高いことが判明し、蚊以外からのWNV感染の可能性が示唆された。	364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗 破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 11/28, 2003/52(47); 1160	米国における2003年11月20~25日の週のウエストナイルウイルスの感染は、合計10州から合計98例が報告された。2003年の総計WNV感染者数として、2003年11月末現在、8567例が報告されている。	466	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ペプトン	ウマの臍臓、脛、ウシの心臓、脾臓及びブタのラードウォーター	ウシの原産国:米国	製造工程
ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 8/15, 2003/52(32);769-72	2003年から、米国で輸血・臓器提供によるウエストナイルウイルス感染防止のため、供血血液に抗体検査に加えてNATスクリーニング検査が導入された。その結果、同年8月5日までに約100万人がスクリーニングされ、329人(約0.03%)がWNV-RNA陽性を示し、再度のNATでも163人(約0.015%)がWNV-RNA陽性だった。	158	北里研究所	1 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 ジフテリアトキソイド 5 ジフテリア破傷風混合トキソイド	ウマ血清	ウマ血液	米国	製造工程
			160	北里研究所	1,2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 沈降精製百日せきワクチン 5 百日せきワクチン	ウマ脱繊維血	ウマ血液	ニュージラント	製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			161	北里研究所	1 乾燥破傷風抗毒素 2 乾燥まむし抗毒素 3 ワイル病治療血清 4 乾燥ジフテリア抗毒素	ウマ血漿	ウマ血液	日本	1~4 製造工程
			162	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 3 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	ニワトリ胚初代培養細胞	孵化鶏卵	日本、 米国、 不明	1~3 製造工程
			163	北里研究所	1、2 インフルエンザHAワクチン 3 インフルエンザワクチン	発育鶏卵	発育鶏卵	日本	製造工程
			166	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ 風しん混合ワクチン	ヒト血清アルブミン	ヒト血液	日本	製造工程
			201	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人活性化プロテインC	プロテインC	ヒト血液		有効成分
			202	化学及血清療法研究所	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	ヒト血液		有効成分
			205	ベネシス	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン 3 ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国	1~3 有効成分
			206	日本製薬	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	有効成分
			207	日本製薬	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国、 は現在製造していない	1、2 有効成分
			208	日本製薬	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ペプシン処理ガンマグロブリン分層	ヒト血液	現在製造していない	有効成分
			240	化学及血清療法研究所	1 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 2 沈降精製百日せきワクチン	アポセルロプラスミン	ヒト血液		製造工程
			303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血：米国、 献血：日本	有効成分
			325	日本製薬	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体	ヒト血液	米国	有効成分
			326	日本製薬	人免疫グロブリン	免疫グロブリンG	ヒト血液	日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1、2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1、2 有効成分
			360	化学及血清療法研究所	1 乾燥弱毒生風しんワクチン 2 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	人血清アルブミン	ヒト血液		1、2 添加物/ 製造工程
			361	化学及血清療法研究所	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ペプシン処理人免疫グロブリンG分層	ヒト血液		有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			413	化学及血清療法研究所	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	スルホ化人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国(ペニロン) 日本(献血ペニロン-1)	有効成分
			414	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人アンチトロンピン	アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			469	日本製薬	乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子複合体	ヒト血液	日本	有効成分
			492	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			526	化学及血清療法研究所	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	抗破傷風人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分
			537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			575	化学及血清療法研究所	1 乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	1,2 製造工程
			583	日本シエーリング	インターフェロンベータ1b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			639	日本製薬	1,2 ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、現在は製造していない	1,2 添加物
			640	日本製薬	1,2,3 トロンピン	トロンピン	ヒト血液	日本、は未発売	有効成分
			641	日本製薬	1,2 人血清アルブミン 3,4 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、は現在製造していない	有効成分
			642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、は現在製造していない	有効成分
			643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 8/22, 2003/52(33);796	2003年8月20日現在までの全米でのWNV感染の累計はヒト715人(うち死亡14人)、死んだ鳥3405羽、ウマ703頭、イヌ4匹、リス1匹、その他の動物5匹であった。	205	ベネシス	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン 3 ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国	1~3 有効成分
			303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血:米国、献血:日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 9/18, 2003/52(Dispatch):1-3	2003年から米国内の採血機関ではウエストナイルウイルスを検出するため、プールNAT検査を導入したが、2003年6月から9月にかけてのNAT検査の結果は、1次検査陽性は全体の0.05%、そのうちの約半数、全体の0.02%がWNV血症可能性血液と考えられた。また、2003年9月時点で2例のNATすり抜け輸血感染症例が報告された。	180	日本臓器製薬	抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリン	ヒト胎盤ホモジネート
183	日本臓器製薬	抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリン				ヒト赤血球	ヒト血液		製造工程
186	第一サントリーファーマ	インターフェロンガンマ1a(遺伝子組換え)				人血清アルブミン	ヒト血液		添加物
216	中外製薬	1 レノグラスチム(遺伝子組換え) 2 エボエチンベータ(遺伝子組換え)				ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	1,2 製造工程
303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子				血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子				人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン				人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血:米国、献血:日本	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			325	日本製薬	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体	ヒト血液	米国	有効成分
			326	日本製薬	人免疫グロブリン	免疫グロブリンG	ヒト血液	日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			345	興和	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	ヒト尿	中国	有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			370	日本臓器製薬	人フィブリノゲン、血液凝固第XIII因子、アプロチニン液、トロンピン、塩化カルシウム	人フィブリノゲン	ヒト血液		有効成分
			371	日本臓器製薬	人フィブリノゲン、血液凝固第XIII因子、アプロチニン液、トロンピン、塩化カルシウム	トロンピン	ヒト血液		有効成分
			372	日本臓器製薬	人フィブリノゲン、血液凝固第XIII因子、アプロチニン液、トロンピン、塩化カルシウム	血液凝固第 因子	ヒト血液		有効成分
			373	日本臓器製薬	人フィブリノゲン、血液凝固第XIII因子、アプロチニン液、トロンピン、塩化カルシウム	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物
			394	中外製薬	インターフェロンアルファ2a(遺伝子組換え)	ヒト血清アルブミン	ヒト血清	スイス	添加物
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			436	日本ケミカルリサーチ	ミリモスチム	ヒト血清アルブミン	ヒト血液		添加物
			469	日本製薬	乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子複合体	ヒト血液	日本	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			639	日本製薬	1,2 ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、現在は製造していない	1,2 添加物

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			640	日本製薬	1,2,3 トロンピン	トロンピン	ヒト血液	日本、 は未発売	有効成分
			641	日本製薬	1,2 人血清アルブミン 3,4 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 は現在 製造してい	有効成分
			642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール 処理人免疫グロブ リンG	ヒト血液	日本、 は現在製造 していない	有効成分
			643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
ウエストナイルウ イルス感染	CDC MMWR, 9/19, 2003/52(37): 889-90	2003年米国でのWNVのサーベイランスデータの報告。9月11 ~ 17日では1214症例(うち死亡26例)の報告があり、2003年 現時点の報告数は総数で4137症例となった。	291	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマー1a(遺 伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	1,2 添加物
ウエストナイルウ イルス感染	CDC MMWR, 9/26, 2003/52(38): 916-9	2003年から米国内の採血機関ではウエストナイルウイルスを 検出するため、プールNAT検査を導入したが、2003年9月時 点で2例のNATすり抜け輸血感染症例が報告された。	200	バクスター	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血漿	米国	有効成分
			247	阪大微生物病 研究会	乾燥弱毒生麻しんおたぶくかぜ 風しん混合ワクチン	人血清アルブミン	ヒト血液	該当なし(製 造中止品目 のため)	添加物
			334	三菱ウェル ファーマ	乾燥抗ヒトリンパ球ウマ免疫グロ ブリン	ヒトの培養リンパ球 (Namalawa細胞由来)	ヒト血液	ケニア	製造工程
			335	三菱ウェル ファーマ	乾燥抗ヒトリンパ球ウマ免疫グロ ブリン	ヒト赤血球	ヒト血液	日本	製造工程
			386	バクスター	ヒト凝固性たん白質、トロンピン、 アプロチニン液、塩化カルシウム	ヒト凝固性たん白質 (フィブリノゲン加第 因子)	ヒト血漿	米国	有効成分
			387	バクスター	乾燥イオン交換樹脂処理人免疫 グロブリン	人血清アルブミン	ヒト血漿	米国	添加物
			388	バクスター	乾燥イオン交換樹脂処理人免疫 グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血漿	米国	有効成分
			391	バクスター	ヒト凝固性たん白質、トロンピン、 アプロチニン液、塩化カルシウム	人血清アルブミン	ヒト血漿	米国	添加物
			392	バクスター	ヒト凝固性たん白質、トロンピン、 アプロチニン液、塩化カルシウム	トロンピン	ヒト血漿	米国	有効成分
			432	持田製薬	インターフェロンアルファ	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物/製 造工程
			444	アベンティス ファーマ	乾燥濃縮人アンチトロンピン	乾燥濃縮人アンチト ロンピン	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オースト	製造工程
			446	バクスター	活性化プロトロンピン複合体濃縮 製剤	乾燥人血液凝固第 因子阻害物質補 正活性複合体	ヒト血漿	米国	有効成分
			448	バクスター	ルリオクトコグアルファ(遺伝子組 換え)	人血清アルブミン	ヒト血漿	米国	添加物
			456	バクスター	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血漿	米国	有効成分
			458	バクスター	加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血漿	米国	有効成分
			527	バクスター	乾燥濃縮アンチトロンピン	アンチトロンピン	ヒト血漿	スウェーデン	有効成分
			528	バクスター	乾燥濃縮アンチトロンピン	人血清アルブミン	ヒト血漿	スウェーデン	添加物
			529	アベンティス ファーマ	人C1-インアクチベーター	人C1-インアクチ ベーター	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オースト	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			530	アベンティス ファーマ	ペプシン処理人免疫グロブリンG	ペプシン処理人免疫 グロブリンG	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オースト	有効成分
			537	シェリング・ブラ ウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			619	バクスター	乾燥人血液凝固第 因子複合体	乾燥人血液凝固第 因子複合体	ヒト血漿	米国	有効成分
			620	バクスター	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血漿	米国	添加物
			621	バクスター	乾燥人血液凝固第 因子	乾燥人血液凝固第 因子	ヒト血漿	米国	有効成分
			622	バクスター	乾燥人血液凝固因子抗体迂回活 性複合体	乾燥人血液凝固因 子抗体迂回活性複 合体	ヒト血漿	米国、ドイ ツ、オースト リア及びス ウェーデン	有効成分
			647	アベンティス ファーマ	1,2,3 人血清アルブミン 4 人血液凝固第 因子 5,6 フィブリノゲン、ヒト血液凝固 第 因子、アプロチニン液、日 局トロンピン	人血清アルブミン	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オースト リア	1~3 有効 成分、4~6 添加物
ウエストナイルウ イルス感染	CDC Telebriefing transcript 8/7, 2003	米国における2003年夏までのウエストナイルウイルスの動向 調査。夏になりヒトへ感染が急増している。	466	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ペプトン	ウマの臍 臓、脛、 ウシの心 臓、脾臓 及びブタ のラード ウォーター	ウシの原産 国: 米国	製造工程
ウエストナイルウ イルス感染	CDC Telebriefing transcript 8/7, 8/14 2003	米国における2003年夏までのウエストナイルウイルスの動向 調査。夏になりヒトへ感染が急増している。	158	北里研究所	1 沈降精製百日せきジフテリア破 傷風混合ワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキ ソイド 3 百日せきジフテリア破傷風混合 ワクチン 4 ジフテリアトキソイド 5 ジフテリア破傷風混合トキソイド	ウマ血清	ウマ血液	米国	製造工程
			160	北里研究所	1,2 沈降精製百日せきジフテリア 破傷風混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合 ワクチン 4 沈降精製百日せきワクチン 5 百日せきワクチン	ウマ脱繊維血	ウマ血液	ニュージュー ランド	製造工程
			161	北里研究所	1 乾燥破傷風抗毒素 2 乾燥まむし抗毒素 3 ワイル病治療血清 4 乾燥ジフテリア抗毒素	ウマ血漿	ウマ血液	日本	1~4 製造 工程
			162	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチ ン 3 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	ニワトリ胚初代培養 細胞	孵化鶏卵	日本、 米国、不 明	1~3 製造 工程
			163	北里研究所	1,2 インフルエンザHAワクチン 3 インフルエンザワクチン	発育鶏卵	発育鶏卵	日本	製造工程
			166	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ 風しん混合ワクチン	ヒト血清アルブミン	ヒト血液	日本	製造工程



感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
ウエストナイルウイルス感染	EMEA/CPMP/BWP/3752/03; 7/25, 2003	ウエストナイルウイルスと血漿分画製剤についてのCPMPの見解。血漿由来製剤においては、その不活化処理やナノフィルトレーションなどがWNVに対し有効であった。	201	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人活性化プロテインC	プロテインC	ヒト血液		有効成分
			202	化学及血清療法研究所	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	ヒト血液		有効成分
			205	ベネシス	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン 3 ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国	1~3 有効成分
			206	日本製薬	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	有効成分
			207	日本製薬	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国、 は現在製造していない	1,2 有効成分
			208	日本製薬	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ペプシン処理ガンマグロブリン分層	ヒト血液	現在製造していない	有効成分
			230	アベンティスファーマ	1 人血液凝固第 因子 2 フィブリノーゲン、人血液凝固第 因子、アプロチニン液、日局トロンピン	人血液凝固第 因子	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分
			234	アベンティスファーマ	フィブリノゲン、人血液凝固第 因子、アプロチニン液、トロンピン、塩化カルシウム	アンチトロンピン	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	製造工程
			235	アベンティスファーマ	人免疫グロブリンG	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国、ドイツ、オースト	有効成分
			236	アベンティスファーマ	破傷風抗毒素	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国、ドイツ、オースト	有効成分
			237	アベンティスファーマ	フィブリノゲン、人血液凝固第 因子、アプロチニン液、トロンピン、塩化カルシウム	フィブリノゲン	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分
			238	アベンティスファーマ	フィブリノゲン、人血液凝固第 因子、アプロチニン液、トロンピン、塩化カルシウム	トロンピン末	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分
			303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血：米国、献血：日本	有効成分
			325	日本製薬	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体	ヒト血液	米国	有効成分
			326	日本製薬	人免疫グロブリン	免疫グロブリンG	ヒト血液	日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分			
360	化学及血清療法研究所	1 乾燥弱毒生風しんワクチン 2 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	人血清アルブミン	ヒト血液		1,2 添加物/製造工程			
361	化学及血清療法研究所	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ペプシン処理人免疫グロブリンG分層	ヒト血液		有効成分			

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			413	化学及血清療法研究所	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	スルホ化人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国(ペニロン) 日本(献血ペニロン-1)	有効成分
			414	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人アンチトロンピン	アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			444	アベンティスファーマ	乾燥濃縮人アンチトロンピン	乾燥濃縮人アンチトロンピン	ヒト血液	米国、ドイツ、オースト	製造工程
			469	日本製薬	乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子複合体	ヒト血液	日本	有効成分
			492	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			526	化学及血清療法研究所	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	抗破傷風人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分
			529	アベンティスファーマ	人C1-インアクチベーター	人C1-インアクチベーター	ヒト血液	米国、ドイツ、オースト	有効成分
			530	アベンティスファーマ	ペプシン処理人免疫グロブリンG	ペプシン処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国、ドイツ、オースト	有効成分
			536	アラガン	A型ボツリヌス毒素	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物
			647	アベンティスファーマ	1,2,3 人血清アルブミン 4 人血液凝固第 因子 5,6 フィブリノゲン、ヒト血液凝固第 因子、アプロチニン液、日局トロンピン	人血清アルブミン	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	1-3 有効成分、4-6 添加物
ウエストナイルウイルス感染	Emerging Infectious Diseases 2001; 7(4): 714-21	WNVをハムスターの腹腔内に投与すると、5-6日間でウイルス性血症を示し、続いて抗体が発現、脳炎を起こし、7-14日間に約半数が死亡した。	519	大塚製薬	インターフェロンアルファ(BALL-1)	ハムスター(ヒトリンパ芽球細胞を皮下で増殖)	ハムスター		製造工程
ウエストナイルウイルス感染	Emerging Infectious Diseases 2003; 9(7): 857-9	メキシコ・ユタカン州のウマにウエストナイルウイルスが感染していたエビデンスが得られた。今後、メキシコでのウエストナイルウイルスのサーベイランスが重要となってくる。	258	阪大微生物病研究会	1 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 2 百日せきジフテリア混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 5 ジフテリア破傷風混合トキソイド 6 成人用沈降ジフテリアトキソイド 7 ジフテリアトキソイド 8 乾燥まむし抗毒素 9 乾燥ジフテリア抗毒素	ウマ血清	ウマ血液	アメリカ	製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
ウエストナイルウイルス感染	Emerging Infectious Diseases 2003; 9(7): 897-8	CDCが2003年に開催したWNV南東協議会の成果によると、蚊媒介以外のWNVの感染経路として、1)血液を含む臓器組織の移植、2)感染した母親からの母乳、3)実験室及び病院での感染した組織・血清の取扱い、4)子宮内胎児への胎盤からの暴露が示唆された。	209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			212	バイエル薬品	pH 4 処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
ウエストナイルウイルス感染	FDA HP August 31, 2003	2003年8月31日現在のWNVガイダンス等のFDA通知の状況を確認。	209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			212	バイエル薬品	pH 4 処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
ウエストナイルウイルス感染	Great Falls Tribune 8/15, 2003	米国モンタナ州で4名のWNV感染患者が発生し、同州における初めての感染例となった。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
ウエストナイルウイルス感染	Health Canada Media Bulletin 2003, 9/4	カナダCBSの検査により献血で新たに1名のWNV感染が確認された。この供血から血液製剤は作られてはいない。これにより、カナダでは累積2名のWNV感染確定例、5名の可能性例が確認された。	537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
ウエストナイルウイルス感染	Infectious Diseases News Brief, Health Canada 8/1, 2003	2003年7月、カナダで本年初めて、サスカチュワン州での献血血液のスクリーニング検査により、WNV感染が確認された。	537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
ウエストナイルウイルス感染	Journal of Clinical Microbiology 2003; 41(5): 2002-7	米国で、WNVを実験的に感染させたニワトリ及び自然感染させたニワトリに対し、ニワトリ免疫グロブリンMを酵素免疫吸着検定法にて測定したところ、時期を逃さずWNV活性の検出が得られたことから、この方法は適切なスクリーニング検定であることが確認された。	518	大塚製薬	インターフェロンアルファ(BALL-1)	ふ化鶏卵(センダイウイルスを増殖)	鶏卵		製造工程
ウエストナイルウイルス感染	KSLTV, AP報告 8/15 2003	米国アリゾナ州でウマ2頭がウエストナイルウイルスに感染した。	168	中外製薬	トラスツマブ(遺伝子組換え)	プリマトンHS / UF	ウシ脾臓、心臓、ウマ脾臓、脛肉	ウシ:米国、ウマ:米国、カナダ	製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
ウエストナイルウイルス感染	PPTA WNV Presentation to BPAC 9/18 2003	PPTAに加盟する製薬メーカーの血漿プールを調査したところ、大半の血漿プールではWNVは検出されなかった。また、検出されたプールでも以前のリスク評価と一致して力価が低く、最終製品に至るまでさらに希釈される可能性がある。	209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			212	バイエル薬品	pH 4 処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
ウエストナイルウイルス感染	ProMED 10/10, 2003 (Canoe, cnews, Associated Press report 10/4, 2003)	米国コロラド州で、輸血前には神経症状がなかった24名が、輸血でWNV感染によりポリオ様麻痺を呈した。	432	持田製薬	インターフェロンアルファ	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物/製造工程
			583	日本シエリング	インターフェロンベータ1b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
ウエストナイルウイルス感染	ProMED 10/10, 2003 (CDC MMWR 2003; 52(39): 964-5)	米国連邦当局は、輸血前には神経症状のなかった24例が輸血によるWNV感染によって麻痺を呈したこと、コロラド州北部で発生した患者約24例がWNV感染に伴ったポリオ様麻痺を呈したことを報告した。	537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
ウエストナイルウイルス感染	ProMED 10/17, 2003 (CDC MMWR 2003; 52(41): 996-7)	米国において献血時の検査でWNV感染者2例が特定された。また、インディアナ州の住民から本年2例目のWNV感染死亡患者が報告された。	537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
ウエストナイルウイルス感染	ProMED 10/31, 2003 (Reuters Health 10/23, 2003)	米国で、造血幹細胞移植を通じて初めて2名の患者がWNVに感染、脳炎を発症した。	432	持田製薬	インターフェロンアルファ	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物/製造工程
ウエストナイルウイルス感染	ProMED 10/5, 2003 (Associated Press Newswires 10/6, 2003)	2003年、米国ロードアイランド州ワシントン郡でウマ2頭がWNVに感染した。	336	三菱ウェルファーマ	乾燥抗ヒトリンパ球ウマ免疫グロブリン	ウマ免疫グロブリン	ウマ血液	日本	有効成分
ウエストナイルウイルス感染	ProMED 8/22, 2003 (Eurosurveillance Weekly, vol.7, 8/21, 2003)	2002年8月28日～2003年3月1日のCDC追跡調査の結果、輸血感染が疑われる患者は61名、そのうち確定症例は21名であった。欧州における供血者へのWNV対策は、米国カナダからの帰国者は、帰国後28日間は供血を延期すること、米国カナダの渡航歴がありWNVの疑いの病歴を有する者あるいは滞在中・帰国時に頭痛を伴う発熱があった場合は、症状発生から28日間は供血を延期することとしている。	325	日本製薬	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体	ヒト血液	米国	有効成分
			326	日本製薬	人免疫グロブリン	免疫グロブリンG	ヒト血液	日本	有効成分
			469	日本製薬	乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子複合体	ヒト血液	日本	有効成分
			537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			639	日本製薬	1,2 ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、現在は製造していない	1,2 添加物

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			640	日本製薬	1,2,3 トロンピン	トロンピン	ヒト血液	日本、 は未発売	有効成分
			641	日本製薬	1,2 人血清アルブミン 3,4 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 は現在 製造してい ない	有効成分
			642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール 処理人免疫グロブ リンG	ヒト血液	日本、 は現在製造 していない	有効成分
			643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
ウエストナイルウ イルス感染	ProMED 9/19, 2003 (Newsday.com 9/19, 2003)	米国でWNV陽性と判定された85歳の女性が、ニューヨーク市 で今年初めての死亡患者となった。他に1例がWNV感染によ り無菌性髄膜炎と診断されたが、現在は回復したと報告され ている。	537	シェリング・ブラ ウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
ウエストナイルウ イルス感染	ProMED 9/4, 2003 (The Leader-Post Regina 9/4 & Health Canada 9/9, 2003)	カナダ・サスカチュワン州ではWNV感染症が高率に見られた ため、カナダ血液サービス(CBS)は2003年9月2日よりサスカ チュワン州のすべての血液ドナーについて、個別NATに変更 するとともに、8月4～31日の間にサスカチュワン州で採血さ れた血液由来の全ての血液製剤を回収した。	325	日本製薬	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体	ヒト血液	米国	有効成分
			326	日本製薬	人免疫グロブリン	免疫グロブリンG	ヒト血液	日本	有効成分
			469	日本製薬	乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子 複合体	ヒト血液	日本	有効成分
			639	日本製薬	1,2 ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 現在は製造 していない	1,2 添加物
			640	日本製薬	1,2,3 トロンピン	トロンピン	ヒト血液	日本、 は未発売	有効成分
			641	日本製薬	1,2 人血清アルブミン 3,4 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 は現在 製造してい ない	有効成分
			642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール 処理人免疫グロブ リンG	ヒト血液	日本、 は現在製造 していない	有効成分
			643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
ウエストナイルウ イルス感染	ProMED-mail 8/15, 2003 (Indy Star online, 8/14, 2003)	米国インディアナ州で4名のWNVに感染した疑いのある患者 が発生した。感染が確定すれば2003年最初の同州のWNV感 染者である。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画 分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オ ーストリア、米 国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画 分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オ ーストリア、米 国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画 分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オ ーストリア、米 国	添加物

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
ウエストナイルウイルス感染	ProMED-mail 8/15, 2003 (KOBTV, Associated Press report, 8/13, 2003)	米国ニューメキシコ州で新たに5名のWNV感染患者が発生し、本年の同州における患者総数は8名となった。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
ウエストナイルウイルス感染	ProMED-mail 8/15, 2003 (The Star Democrat 8/12, 2003)	米国デラウェア州ノ東海岸血液バンクは、米国メリーランド州で献血された血液がWNV検査陽性となり、感染血液を破棄し、供血者とメリーランド州保健当局に結果を通知したことを発表した。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
ウエストナイルウイルス感染	ProMED-mail 8/21, 2003 (KOBTV, 8/19, 2003)	米国ニューメキシコ州で78歳男性がWNV感染で同州最初の死亡例となった。現在、同州には総計24例のWNV感染確定患者が存在する。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
ウエストナイルウイルス感染	ProMED-mail 8/21, 2003 (New York Times 8/19, 2003)	米国ニューヨーク州ニューヨーク市で86歳女性が、2003年最初の同州のWNV感染者として確認された。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
ウエストナイルウイルス感染	ProMED-mail 8/21, 2003 (Pantagraph 8/20, 2003)	米国イリノイ州で69歳男性が、2003年最初の同州のWNV感染者として確認された。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
ウエストナイルウイルス感染	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 348(22): 2196-203	2002年8月、共通のドナーから臓器提供を受けたレシピエント4名全員に、発熱、精神状態の変化等が発症し、WNV感染が確認された。調査の結果、ドナーは臓器提供時にはWNVが陽性であったことが判明した。	382	大塚製薬	インターフェロンガンマn1	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
ウエストナイルウイルス感染	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 349(13): 1236-45	2002年8月、米国FDA及びCDCが地方保健当局及び血液関連機関に対して、輸血によるウエストナイル感染に注意するよう通知後、輸血感染が疑われる症例報告がなされるようになったため、2003年4月15日までのCDC追跡調査の結果、輸血感染が疑われる患者は61名、そのうち確定症例は23名であった。	180	日本臓器製薬	抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリン	ヒト胎盤ホモジネート	ヒト胎盤		製造工程
			183	日本臓器製薬	抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリン	ヒト赤血球	ヒト血液		製造工程
			209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			212	バイエル薬品	pH4処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			216	中外製薬	1 レノグラスチム(遺伝子組換え) 2 エボエチンベータ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	1、2 製造工程
			370	日本臓器製薬	人フィブリノゲン、血液凝固第XIII因子、アプロチニン液、トロンピン、塩化カルシウム	人フィブリノゲン	ヒト血液		有効成分
			371	日本臓器製薬	人フィブリノゲン、血液凝固第XIII因子、アプロチニン液、トロンピン、塩化カルシウム	トロンピン	ヒト血液		有効成分
			372	日本臓器製薬	人フィブリノゲン、血液凝固第XIII因子、アプロチニン液、トロンピン、塩化カルシウム	血液凝固第 因子	ヒト血液		有効成分
			373	日本臓器製薬	人フィブリノゲン、血液凝固第XIII因子、アプロチニン液、トロンピン、塩化カルシウム	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物
			382	大塚製薬	インターフェロンガンマn1	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物
			394	中外製薬	インターフェロンアルファ2a(遺伝子組換え)	ヒト血清アルブミン	ヒト血清	スイス	添加物
			432	持田製薬	インターフェロンアルファ	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物/製造工程
			436	日本ケミカルリサーチ	ミリモスチム	ヒト血清アルブミン	ヒト血液		添加物
			469	日本製薬	乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子複合体	ヒト血液	日本	有効成分
			639	日本製薬	1、2 ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、現在は製造していない	1、2 添加物
			640	日本製薬	1、2、3 トロンピン	トロンピン	ヒト血液	日本、は未発売	有効成分
			641	日本製薬	1、2 人血清アルブミン 3、4 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、は現在製造してい	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、は現在製造していない	有効成分
			643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
ウエストナイルウイルス感染	The Seattle Times 8/15, 2003	米国ワシントン州でインディアンYakima族出身の36歳男性が、同州初のWNV感染者と確認された。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
ウエストナイルウイルス感染	The Washington Times 8/12, 2003	米国バージニア州で今年同州最初のWNV脳炎の症例が確認された、予後は良好で回復中である。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
ウエストナイルウイルス感染	Transfusion 2003; 43(8): 1007-17	2002年、米国のWNVの発現率の高い16州及び大都市圏において、輸血を介したWNV感染の平均リスクは供血者1万人あたり1.46-12.33と推定された。	209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			212	バイエル薬品	pH 4 処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			325	日本製薬	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体	ヒト血液	米国	有効成分
			326	日本製薬	人免疫グロブリン	免疫グロブリンG	ヒト血液	日本	有効成分
			382	大塚製薬	インターフェロンガンマn1	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物
			469	日本製薬	乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子複合体	ヒト血液	日本	有効成分
			639	日本製薬	1,2 ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、現在は製造していない	1,2 添加物
			640	日本製薬	1,2,3 トロンピン	トロンピン	ヒト血液	日本、は未発売	有効成分
			641	日本製薬	1,2 人血清アルブミン 3,4 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、は現在製造していない	有効成分
			642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、は現在製造していない	有効成分
			643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分



感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
ウエストナイルウイルス感染	Transfusion 2003; 43(8): 1018-22	重症の分娩後出血により輸血されたことでWNVの感染が疑われた症例をもとに、保存されていた輸血血液成分等を調査した結果、輸血血液成分にWNVが含まれていた証拠が得られた。	209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			212	バイエル薬品	pH4処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			325	日本製薬	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体	ヒト血液	米国	有効成分
			326	日本製薬	人免疫グロブリン	免疫グロブリンG	ヒト血液	日本	有効成分
			382	大塚製薬	インターフェロンガンマn1	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物
			469	日本製薬	乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子複合体	ヒト血液	日本	有効成分
			583	日本シエリング	インターフェロンベータ1b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			639	日本製薬	1,2 ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、現在は製造していない	1,2 添加物
			640	日本製薬	1,2,3 トロンピン	トロンピン	ヒト血液	日本、は未発売	有効成分
			641	日本製薬	1,2 人血清アルブミン 3,4 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、は現在製造していない	有効成分
			642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、は現在製造していない	有効成分
			643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
ウエストナイルウイルス感染	Transfusion 2003; 43(8): 1023-8	血液分画製剤のウイルス不活化工程(ウイルスバリデーション)がWNVにも有効であることが確認された。	209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			212	バイエル薬品	pH4処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			247	阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	人血清アルブミン	ヒト血液	該当なし(製造中止品目のため)	添加物
			325	日本製薬	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体	ヒト血液	米国	有効成分
			326	日本製薬	人免疫グロブリン	免疫グロブリンG	ヒト血液	日本	有効成分
			382	大塚製薬	インターフェロンガンマn1	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物
			469	日本製薬	乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子複合体	ヒト血液	日本	有効成分
			639	日本製薬	1,2 ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、現在は製造していない	1,2 添加物

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			640	日本製薬	1,2,3 トロンピン	トロンピン	ヒト血液	日本、 は未発売	有効成分
			641	日本製薬	1,2 人血清アルブミン 3,4 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 は現在 製造してい	有効成分
			642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール 処理人免疫グロブ リンG	ヒト血液	日本、 は現在製造 していない	有効成分
			643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
ウエストナイルウ イルス感染	Transfusion 2003; 43(8): 1029- 37	赤血球中のWNVはPEN110によって検出限界まで不活化でき たが、1-6 で保存された赤血球ではWNVの感染力は最大 42日間観察された。	209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換 え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換 え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成 分、2 製造 工程
			212	バイエル薬品	pH 4 処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換 え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成 分、2 製造 工程
ウエストナイルウ イルス感染	Transfusion 2003; 43(8): 992-7	輸血によるウエストナイルウイルス感染について、歴史的見 解を示すとともに、現代における課題とその対応(サーベイラ ンス、PCR検査等)について提示した。	209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換 え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換 え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成 分、2 製造 工程
			212	バイエル薬品	pH 4 処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換 え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成 分、2 製造 工程
ウエストナイルウ イルス感染	Tucson Citizen, 9/5 2003	米国アリゾナ州で新たにウマ1頭がウエストナイルウイルス に感染した。	168	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	プリマトンHS / UF	ウシ脾 臓、心 臓、ウマ 脾臓、脛	ウシ: 米国、 ウマ: 米国、 カナダ	製造工程
			301	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画 分、アプロチニン	ウマコラーゲン	ウマアキ レス腱	フランス、ド イツ、ベル ギー、イタリ ア	有効成分
ウエストナイルウ イルス感染	ルイジアナ州農林業局動物保 健局HP 2003年7月24日	米国ルイジアナ州の2郡で、ウエストナイルウイルスに感染し たウマが合計3頭確認された。	168	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	プリマトンHS / UF	ウシ脾 臓、心 臓、ウマ 脾臓、脛	ウシ: 米国、 ウマ: 米国、 カナダ	製造工程
ウシ結核	Journal of Veterinary Medicine Series B Infectious Diseases and Veterinary Public Health 2003; 50: 500-4	ウシ型結核菌はヒツジには滅多に感染しない。健康なヒツジ に結核感染牛を接触させた場合の結核感染・発症例で、そ の免疫学的及び病理所見などについての報告。	576	大日本製薬	コンドロイチン硫酸鉄	コンドロイチン硫酸ナ トリウム	ウシ軟骨 (気管)	米国、メキシ コ	添加物
ウシ結核	Nature 2003; 426; 18/25 December 834-7	英国において、ウシ型結核菌の感染保有宿主の一つは野生 アナグマであり、ウシへの感染源となり得る。最近の20年間、 アナグマの駆除にも拘わらず、ウシへの結核感染が増加し、 畜産関係者への感染性増加も危惧されている。	576	大日本製薬	コンドロイチン硫酸鉄	コンドロイチン硫酸ナ トリウム	ウシ軟骨 (気管)	米国、メキシ コ	添加物

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
うなづき	ProMED 9/24, 2003 (BBC News 9/24, 2003)	スーダンで小児の間に「うなづき病(Nodding disease)」と呼ばれる原因不明の疾患が流行しており、これまでに約300名の小児が罹患した。	349	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗モンテブラーゼモノクローナル抗体	マウス腹水		製造工程
			350	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	遺伝子組換え細胞	ベビーハムスターの腎臓		製造工程
			351	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	カナダ、米国、オーストラリア、NZ、コスタリカ、ニカラグア、エルサルバドル、パナマ又はウルグ	製造工程
			352	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	プラスミン	ウシ血清	米国、オーストラリア又はニュージーランド	製造工程
			353	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗不純蛋白質抗体	ウサギ血清		製造工程
			354	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓		製造工程
			355	エーザイ	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜		有効成分
			584	エーザイ	セクレチン	セクレチン	ブタ十二指腸		有効成分
			エボラ出血熱	WHO Weekly Epidemiological Record 2003; No.33, August 15: 285-9	コンゴ共和国で2003年1月28日、エボラ出血熱による死亡10例が報告され、6月5日に終息宣言が出されるまで143名が感染した。	348	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	HBs抗原たん白質(huGK-14細胞由来)
エルシニア感染	ProMED 10/10, 2003 (Japan Times 10/5, 2003)	2003年9月に大阪の病院で輸血後に菌血症で死亡した65歳女性の血液から、細菌が確認されたとの病院が発表した。	537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
エンテロウイルス感染	Transfusion 2003; 43(8): 1060-6	英国スコットランドでの供血血液のミニプールNAT調査したところ、エンテロウイルスが同定され、血液成分を通してのエンテロウイルスの感染について示唆された。	303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血・米国、献血・日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米国	1~3 有効成分
外傷後創傷感染症	臨床血液 2003; 44(8): 845	日本国内で29歳の医師が針刺し事故により、HTLV-1に感染した事例報告。	345	興和	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	ヒト尿	中国	有効成分
肝炎ウイルス、 HIV	厚生労働省通知(薬食血発第0730002号等平成15年7月30日付)、日本赤十字社HP、共同通信2003年7月29日付	日本赤十字社はウイルス性肝炎等感染者がウインドウ期に献血した6419本の血液由来の血液製剤の遡及調査を実施。	166	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ 風しん混合ワクチン	ヒト血清アルブミン	ヒト血液	日本	製造工程
狂犬病	Clinical Infectious Diseases 2003; 37(8): 598-601	英国スコットランドではヨーロッパコウモリに咬まれて狂犬病を発症することが知られており、コウモリ取扱者への予防接種の勧告、狂犬病症状を呈する患者へのコウモリ咬傷についての問診の必須などについて報告された。	245	高田製薬	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
狂犬病	ProMED-mail 9/12, 2003 (China Daily 9/3, 2003)	中国で狂犬病による死亡数が増加の一途にあり、2003年前半では、2002年同期比90名増の550名に達した。	303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血: 米国、 献血: 日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有 人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗 破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分			
515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物			

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
口蹄疫	OIE Diseases Information, 9/5 2003; Vol.16-No.36	2003年、ボリビア国境付近のアルゼンチン北部でブタの口蹄疫の単発例が発生、予防措置を講じ終息した。	295	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画 分、アプロチニン	ヘパリン	ブタ腸粘 膜	中国	製造工程
クロイツフェルト・ ヤコブ病	AABB Weekly Report. 2003; 12/19	2003年12月、英国保健相は輸血に関連したvCJDの可能性例を英国議会で報告。確認された場合、世界初の輸血によるvCJD感染症例となる。	537	シェリング・プラ ウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
クロイツフェルト・ ヤコブ病	American Chemical Society, Abstracts of Papers 2003; 226(1-2); pANYL11	血液凝固第 因子製剤及び プロテイナーゼインヒビター治療製剤を生成する3つの分画工程を対象とするスパイク試験において、添加サンプルとしてvCJD及びsCJD患者の脳組織を用いて試験を実施した結果、血漿分画工程でPrPscが除去された。	469	日本製薬	乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子 複合体	ヒト血液	日本	有効成分
			639	日本製薬	1,2 ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 現在は製造 していない	1,2 添加物
			640	日本製薬	1,2,3 トロンピン	トロンピン	ヒト血液	日本、 は未発売	有効成分
			641	日本製薬	1,2 人血清アルブミン 3,4 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 は現在 製造してい	有効成分
			642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール 処理人免疫グロブ リンG	ヒト血液	日本、 は現在製造 していない	有効成分
			643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
クロイツフェルト・ ヤコブ病	BLOOD TRANSFUSION INCIDENT INVOLVING vCJD, Department of Health (UK) 2003	英国で、輸血により感染したと考えられるvCJDの初の症例が確認されたが、供血者と受血者の因果関係は証明されていない。	514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
クロイツフェルト・ ヤコブ病	British Journal of Haematology 2003; 122: 3-9	血液を介してのvCJDの感染力は、CJDと比べ高い可能性がある。血液製剤のvCJDの感染リスクを最小限とするためには、効果的なスクリーニング検査の開発が重要である。	209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換 え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換 え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成 分、2 製造 工程
			212	バイエル薬品	pH4 処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	British Medical Journal 2003; 328: 118-9	2003年12月、英国保健相は輸血に関連したvCJDの可能性例を英国議会に報告。確認された場合、世界初の輸血によるvCJD感染症例となる。	639	日本製薬	1,2 ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、現在は製造していない	1,2 添加物
			640	日本製薬	1,2,3 トロンピン	トロンピン	ヒト血液	日本、は未発売	有効成分
			641	日本製薬	1,2 人血清アルブミン 3,4 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、は現在製造していない	有効成分
			642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、は現在製造していない	有効成分
			643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
クロイツフェルト・ヤコブ病	Calgary CBC Ca News 9/25, 2003	カナダ・アルバータ州で発生したBSEについて、当該ウシの感染経路が解明できない可能性がある。	296	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アプロチニン	ウシ肺	ウルグアイ、ニュージーランド	有効成分
			302	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	トロンピン画分	ウシ血液	ニュージーランド	有効成分
クロイツフェルト・ヤコブ病	CaWest News Service, 2003/8/1	カナダにおけるBSEサーベイランスが適切に実施されてなかったことから、BSE感染頭数の報告が事実を下回っているのではないかと指摘。	173	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ蛋白加水分解物	ウシ脾臓、ウシ血液	米国	製造工程
			174	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ脾臓	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程
			175	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			176	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシリボプロテイン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			177	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、カナダ、オーストラリア	製造工程
			178	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシアポトランスフェリン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC MMWR, 1/9, 2004/52(53): 1280-5	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。	480	旭化成ファーマ	チソキナーゼ	ウシ血清	ウシ血液	米国	製造工程
			487	ニプロファーマ	チソキナーゼ	ウシ血清	ウシ血液	米国	製造工程
			498	興和	チソキナーゼ	ウシ血清	ウシ血液	米国	製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			548	武田薬品工業	1 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3,4 沈降破傷風トキソイド 5 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 沈降精製百日せきワクチン 7 ジフテリアトキソイド 8 ジフテリア破傷風混合トキソイド 9 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 10 乾燥破傷風ウマ抗毒素	スキムミルク	ウシ乳	アメリカ合衆国、日本	1~10 製造工程
			564	武田薬品工業	1 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3,4 沈降破傷風トキソイド 5 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 ジフテリア破傷風混合トキソイド 7 乾燥破傷風ウマ抗毒素	バクトカジトン	ウシ乳	ニュージーランド、アメリカ合衆国、オーストラリア	1~7 製造工程
			565	武田薬品工業	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4,5 日本脳炎ワクチン 6 乾燥日本脳炎ワクチン 7 弱毒生風しんワクチン原液	ウシ血清	ウシ血液	1、2、3、7 アメリカ合衆国、4、5、6 ニュージーランド	1~7 製造工程
			596	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ	コレステロール	ヒツジ毛	1、2、3 ニュージーランド、オーストラリア、4、不明	1~4 製造工程
			597	北里研究所	1,2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 4 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 ジフテリアトキソイド 6 ジフテリア破傷風混合トキソイド	ヒツジ血清	ヒツジ血液	1、2、3 米国、4、5、6 不明	1~6 製造工程
			436	日本ケミカルリサーチ	ミリモスチム	ヒト血清アルブミン	ヒト血液		添加物
			494	住友製薬	酢酸ソマトレリン	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
513	第一ラジオアイソトープ研究所	ヨウ化人血清アルブミン	ヨウ化人血清アルブミン	ヒト血液	米国	有効成分			
529	アベンティスファーマ	人C1-インアクチベーター	人C1-インアクチベーター	ヒト血液	米国、ドイツ、オースト	有効成分			
530	アベンティスファーマ	ペプシン処理人免疫グロブリンG	ペプシン処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国、ドイツ、オースト	有効成分			
537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物			
クローイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly 12/18, 2003; 13(51)	英国で、輸血により感染したと考えられるvCJDの初の症例が確認されたが、供血者と受血者の因果関係は証明されていない。	436	日本ケミカルリサーチ	ミリモスチム	ヒト血清アルブミン	ヒト血液		添加物

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			583	日本シエーリング	インターフェロンベータ1b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			639	日本製薬	1,2 ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、現在は製造していない	1,2 添加物
			640	日本製薬	1,2,3 トロンピン	トロンピン	ヒト血液	日本、は未発売	有効成分
			641	日本製薬	1,2 人血清アルブミン 3,4 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、は現在製造していない	有効成分
			642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、は現在製造していない	有効成分
			643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
			647	アベンティスファーマ	1,2,3 人血清アルブミン 4 人血液凝固第 因子 5,6 フィブリノゲン、ヒト血液凝固第 因子、アプロチニン液、日局トロンピン	人血清アルブミン	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	1~3 有効成分、4~6 添加物
クロイツフェルト・ヤコブ病	Dev Biol. Basel, Karger, 2002, vol.108, 87-92	英国等におけるvCJDの状況についての報告。英国の輸血医学疫学再調査において、CJD症例の供血者及び受血者に関するデータの収集が行われているが、現在までの結果、輸血感染に関する裏付けはない。	291	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマー1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	1,2 添加物
クロイツフェルト・ヤコブ病	Dev Biol. Basel, Karger, 2002, vol.108, 93-8	実験的BSE感染潜伏期で健常な外見を呈するヒツジの全血を別のヒツジに輸血するという研究結果から、血液によるBSE感染の可能性が示された。	291	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマー1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	1,2 添加物
クロイツフェルト・ヤコブ病	EMA/CPMP/BWP/5136/03; 11/20, 2003	EMAのCPMPは、変異性クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)のリスクに関する血漿由来医薬品の製造工程の調書に関する審議文書を公表した。	575	化学及血清療法研究所	1 乾燥人血液凝固第 因子複合体 2 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	1,2 製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	EU Institutions press releases 12/18, 2003	英国保健省は、輸血を介してvCJDに感染する可能性がある患者が死亡したことを英国議会に報告した。	588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
クロイツフェルト・ヤコブ病	European Molecular Biology Organization Reports 2003; 4. 530-3	TSEのひとつであるスクレイビーを経口感染させたハムスターの舌筋、7種類の骨格筋、心筋、坐骨神経に病原性プリオン蛋白が蓄積したことが確認された。	250	阪大微生物病研究会	1 乾燥痘そうワクチン 2 痘そうワクチン	ウシの皮膚	ウシ皮膚	該当なし(製造中止品目のため)	1,2 製造工程
			251	阪大微生物病研究会	1 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんワクチン 5 乾燥弱毒生水痘ワクチン	ウシ血清	ウシ血液	アメリカ、ニュージーランド、オーストラリア	1~6 製造工程
			252	阪大微生物病研究会	1 沈降精製百日せきワクチン 2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 百日せきワクチン	脱繊維牛血液	ウシ血液	アメリカ	製造工程



感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			253	阪大微生物病研究会	1 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 2 百日せきジフテリア混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 5 ジフテリア破傷風混合トキソイド 6 成人用沈降ジフテリアトキソイド	牛肉消化液	ウシ肉	オーストラリア	製造工程
			254	阪大微生物病研究会	1 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	乳糖	ウシ乳	オランダ、ドイツ	1~4 添加剤(添加物)
			255	阪大微生物病研究会	1 沈降精製百日せきワクチン 2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 百日せきジフテリア混合ワクチン 4 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程
			256	阪大微生物病研究会	1 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんワクチン 5 乾燥弱毒生水痘ワクチン	ラクトビオン酸エリスロマイシン	ウシ乳	オランダ、アメリカ、カナダ、ニュージーランド	1~6 製造工程
			257	阪大微生物病研究会	1 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 2 百日せきジフテリア混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 5 ジフテリア破傷風混合トキソイド 6 成人用沈降ジフテリアトキソイド	ヘプトン	ウシ乳	ニュージーランド、ベルギー、ドイツ、ルクセンブルク	製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	European Molecular Biology Organization Reports 2004; 5(1). 110-5	フランスでBSEと診断されたウシで、特有の異常プリオン分子の表現型が認められた。	502	中外製薬	エボエチンベータ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン(BSA)	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			505	中外製薬	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	牛肉	ウシ骨格筋	米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程
			506	中外製薬	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	BactoTeddHewitt	ウシ心臓、骨格筋、骨髄、脂肪組織、結合組織、乳、心臓、脾	ウシ: 米国、オーストラリア、ニュージーランド、 ブタ: 米国、イタリア、カナダ	製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			507	中外製薬	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	ペプトンN粉末	ウシ乳	ニュージーランド	製造工程
			508	中外製薬	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	スキムミルク	ウシ乳	米国	製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA Statement for immediate release statement 12/24, 12/27, 2003	2003年12月23日、米国ワシントン州で飼育されていた歩行困難なホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEとして疑われ、英国の検査機関に依頼したところ、米国の検査と同じく陽性となり、12月26日診断が確定した。	637	東和薬品	高カロリー輸液用微量元素製剤	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシ気管抽出物	アメリカ	添加物
クロイツフェルト・ヤコブ病	Human reproduction 2002; 17(7); 1676-9	尿由来のゴナトトロピン製剤によるプリオン病のリスクは極めて少ないと考えられるが、さらに検討が必要である。	333	東和薬品	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿抽出物	中国	有効成分
クロイツフェルト・ヤコブ病	JAPIC Daily Mail Plus No.22 2003; 12/20 ~ 12/26	米国ワシントン州において、2003年12月24日にBSE感染牛が発生した。感染牛はワシントン州産の乳牛1頭(ホルスタイン種)であり、12月9日に食肉処理場において処理された。英国OIE委託研究所が診断確定を行った結果、陽性であった。日本、韓国、台湾を含む各国が米国産牛肉の輸入を停止した。	548	武田薬品工業	1 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3、4 沈降破傷風トキソイド 5 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 沈降精製百日せきワクチン 7 ジフテリアトキソイド 8 ジフテリア破傷風混合トキソイド 9 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 10 乾燥破傷風ウマ抗毒素	スキムミルク	ウシ乳	アメリカ合衆国、日本	1~10 製造工程
			564	武田薬品工業	1 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3、4 沈降破傷風トキソイド 5 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 ジフテリア破傷風混合トキソイド 7 乾燥破傷風ウマ抗毒素	バクトカジトン	ウシ乳	ニュージーランド、アメリカ合衆国、オーストラリア	1~7 製造工程
			565	武田薬品工業	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4、5 日本脳炎ワクチン 6 乾燥日本脳炎ワクチン 7 弱毒生風しんワクチン原液	ウシ血清	ウシ血液	1、2、3、7 アメリカ合衆国、4、5、6 ニュージーランド	1~7 製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology 2003; vol.84: 1921-5	サンドイッチCDI法により、病原性のプリオンタンパク質が、従来法に比べ30~100倍の感度で24時間以内に測定できた。	187	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			188	日本赤十字社	人免疫グロブリン	人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			189	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			224	日本赤十字社	洗浄人赤血球浮遊液	洗浄人赤血球浮遊液	ヒト血液	日本	有効成分
			226	日本赤十字社	白血球除去人赤血球浮遊液	白血球除去人赤血球浮遊液	ヒト血液	日本	有効成分
			227	日本赤十字社	新鮮凍結人血漿	新鮮凍結人血漿	ヒト血液	日本	有効成分
			228	日本赤十字社	人血小板濃厚液	人血小板濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			229	日本赤十字社	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			344	日本赤十字社	解凍人赤血球濃厚液	解凍人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			358	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			402	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			403	日本赤十字社	人全血液	人全血液	ヒト血液	日本	有効成分
クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature Medicine 2003; 9(12): 1442	日本及びイタリアで、それぞれ新種と思われるBSEに感染したウシが発見された。日本のウシは非常に若く症状も現れていなかったが、イタリアのウシは脳内アミロイドの蓄積に異常なパターンが見られた。両国の感染牛のプリオンが同一か、あるいは新しい病原体であるかは不明である。	588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature Science update 2003, 12/22	英国で、1996年にvCJDと考えられる供血者由来の血液を輸血した患者が、2003年秋にvCJDで死亡した。	432	持田製薬	インターフェロンアルファ	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物/製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Diseases Information, 1/2 2004; Vol.17-No.1	米国ワシントン州Mabton近郊で、2003年12月23日、カナダから2001年に米国に輸入されたホルスタイン種の乳牛1頭にBSEが発症した。	576	大日本製薬	コンドロイチン硫酸鉄	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシ軟骨(気管)	米国、メキシコ	添加物
クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Diseases Information, 10/10 2003; Vol.16-No.41	茨城県で月齢23ヶ月の雄のホルスタイン種1頭が、ELISA法、ウエスタンブロット法、組織学的検査、免疫組織科学的検査による結果を踏まえ、非定型BSEであると判定された。この牛は殺処分された。	264	伊藤ライフサイエンス	日局トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア、アルゼンチン	有効成分
クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Diseases Information, 10/17 2003; Vol.16-No.42	イタリアで2頭の高齢のウシが不定型BSE感染牛と報告された。2頭とも免疫組織化学パターンと免疫生物化学パターンは通常のBSEで認められるパターンと異なり、また脳内におけるPrPsc蓄積の分布の相違も認められた。	367	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国	製造工程
			465	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	フェツイン	ウシ血清由来	カナダ、米国、ニュージーランド	製造工程
			466	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ペプトン	ウマの脾臓、脛、ウシの心臓、脾臓及びブタのラードウォーター	ウシの原産国:米国	製造工程
			467	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	D-ガラクトース	ウシ乳汁	米国	製造工程
			468	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血清	カナダ、米国、ニュージーランド	製造工程
			502	中外製薬	エボエチンベータ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン(BSA)	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			505	中外製薬	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	牛肉	ウシ骨格筋	米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			506	中外製薬	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	BactoTeddHewitt	ウシ心臓、骨格筋、骨髄、脂肪組織、結合組織、乳ブタ心臓、脾	ウシ:米国、オーストラリア、ニュージーランド、ブタ:米国、イタリア、カナダ	製造工程
			507	中外製薬	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	ペプトンN粉末	ウシ乳	ニュージーランド	製造工程
			508	中外製薬	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	スキムミルク	ウシ乳	米国	製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Diseases Information, 8/15 2003; Vol.16-No.33	カナダ食品検査局によるアルバータ州における疫学調査によるとBSE感染牛が根絶され、ヒトの食物連鎖に入らなくなったことを報告。	173	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ蛋白加水分解物	ウシ脾臓、ウシ血液	米国	製造工程
			174	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ膵臓	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程
			175	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			176	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシリボプロテイン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			177	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、カナダ、オーストラリア	製造工程
			178	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシアポトランスフェリン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE News Press Release, 12/24 2003	米国ワシントン州で飼育されていたホルスタイン種ウシ1頭が米国で初めてBSEとして疑われた。	478	三菱ウェルファーマ	日局カリジノゲナーゼ	ウシ胎仔血清
525	三菱ウェルファーマ	アプロチニン製剤				アプロチニン液	ウシ肺	米国、ウルグアイ、ニュージーラ	有効成分
クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 1/7, 2004 (USDA 1/6, 2003)	米国ワシントン州で、2003年12月23日、BSEを発症したホルスタイン1頭は、遺伝子鑑定によりカナダのAlberta州の農場由来(1997年4月生)と判明した。	576	大日本製薬	コンドロイチン硫酸鉄	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシ軟骨(気管)	米国、メキシコ	添加物
クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 10/8, 2003 (Japan Times 10/7, 2003)	茨城県で非定型型のBSE感染ホルスタイン牛(雄去勢・23ヶ月令)が1頭確認された。	264	伊藤ライフサイエンス	日局トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア、アルゼンチン	有効成分
クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 10/9, 2003 (OIE警告メッセージ 10/9, 2003)	平成15年10月、茨城県で23ヶ月齢の非定型的なBSE感染牛1頭(8例目)が確認された。	346	興和	ウロキナーゼ	精製ゼラチン	ウシの骨、ブタの皮	ウシの骨(インド)、ブタの皮(日本)	添加物
クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 12/18, 2003 (BBC News online 12/17, 2003)	英国で、1996年にvCJDと考えられる供血者由来の血液を輸血した患者が、2003年秋にvCJDで死亡した。	436	日本ケミカルリサーチ	ミリモスチム	ヒト血清アルブミン	ヒト血液		添加物
			537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 12/24, 2003 (Washington Post 12/23, 2003)	米国ワシントン州で飼育されていたホルスタイン種ウシ1頭が米国で初めてBSEとして疑われた。	433	持田製薬	インターフェロンアルファ	ウシ胎仔血清	ウシ胎仔血液	オーストラリア	製造工程
			434	持田製薬	インターフェロンベータ	インスリン	ウシ膵臓	米国	製造工程
			435	持田製薬	インターフェロンベータ	ウシ血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 12/27, 2003 (Dr. S. Shafran, E. Wayne Johnson, Allen Drusys の投稿 12/26, 2003)	米国で、BSEに感染したウシの第1例が報告された。自ら歩行もできないこの感染牛の肉を、米国政府は食用としての使用を許可したことは理解しがたい。	588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 12/31, 2003 (OIE 12/29, 2003)	英国WeybridgeにあるBSEに関するOIE委託研究所は米国Washington州で発生したBSE感染牛症例についての診断結果(検査陽性)を確認した。	632	持田製薬	トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア	有効成分
			633	持田製薬	トロンピン	トロンボプラスチン	ウシ肺	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程
			634	持田製薬	1 硫酸フラジオマイシン・結晶トリプシン 2 インターフェロン	結晶トリプシン	ウシ膵臓	ニュージーランド	1 有効成分、2 製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 8/10, 2003 (Buffalo News, 8/7 2003)	2003年8月6日、イタリアでvCJDのよる初の死亡(27歳女性)が確認された。	292	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマー1a(遺伝子組換え)	カザミノ酸	ウシ乳	アメリカ	1,2 製造工程
			293	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマー1a(遺伝子組換え)	バクトトリプトン	ウシ乳	オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ	1,2 製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 8/7, 2003 (The Age 8/7, 2003 & ニュージーランド保健省記者会見 8/7, 2003)	ニュージーランドでvCJD感染のおそれがある症例が報告され、確認中である。	351	エーザイ	モンテプラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	カナダ、米国、オーストラリア、NZ、コスタリカ、ニカラグア、エルサルバドル、パナマ又はウルグ	製造工程
			352	エーザイ	モンテプラーゼ(遺伝子組換え)	ブラスミン	ウシ血清	米国、オーストラリア又はニュージーランド	製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail 10/12, 2003 (読売新聞2003年10月12日)	日本での8例目のBSE感染牛と異常プリオンの構造が同じと見られるウシ2頭が、2002年イタリアで確認されており、イタリアから輸入されたウシ由来の肉骨粉が感染源の可能性がある。	367	ベネシス	ナサルプラーゼ(細胞培養)	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国	製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail 12/23, 2003 (USDA NEWS RELEASE 12/23, 2003)	米国ワシントン州で飼育されていた歩行困難なホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEとして疑われた。	587	麒麟麦酒	エポエスチンアルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail 12/23, 2003 (Washington Post 12/23, 2003)	米国ワシントン州で飼育されていたホルスタイン種ウシ1頭が米国で初めてBSEとして疑われた。	587	麒麟麦酒	エボエスチンアルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail 8/17, 2003 (New Zealand Herald 8/15, 2003)	ニュージーランドでvCJD感染のおそれがあった症例は、扁桃腺の試験が陰性であったことから、vCJDの診断を除外した。	587	麒麟麦酒	エボエスチンアルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail 8/7, 2003 (The Age 8/7, 2003)	ニュージーランドでvCJD感染のおそれがある症例が報告され、確認中である。	205	ベネシス	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン 3 ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国	1~3 有効成分
			303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血：米国、献血：日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			587	麒麟麦酒	エボエスチンアルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程
611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1~4 有効成分、5,6 添加物			
612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1~3 有効成分			
613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分			

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail 8/7, 2003 (ニュージーランド保健省記者会見 8/7, 2003)	ニュージーランドでvCJD感染のおそれがある症例が報告され、確認中である。	587	麒麟麦酒	エボエスチンアルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	Proteomics 2003; 3: 1495-9	CJD診断の脳脊髄液または血液スクリーニング検査として、潜在性神経変性障害のマーカーとして発見されたH-FABPの検出検査が有効と示唆された。この検査が実用化されることになれば、輸血及び血液製剤によるCJD感染リスクを最小限にできる可能性がある。	209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			212	バイエル薬品	pH 4 処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	Revue Scientifique et Technique Office International des Epizooties 2003; 22,1: 283-96	英国において、ブタや家禽がBSEの病原体に曝露されたことは否定できない。実験的にはブタや家禽にはBSEの経口感染はなく、BSEに感染したブタや家禽の存在はないが、その可能性についての懸念は完全に否定できない。	356	日本シエーリング	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜	中国	有効成分
			568	持田製薬	日局ヘパリンナトリウム	日局ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜		有効成分
			577	日本シエーリング	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分
			581	アボットジャパン	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜ヘパリン	中国	有効成分
クロイツフェルト・ヤコブ病	The Journal of Veterinary Medical Science 2002; 64(9): 855-8	1997年、カナダから韓国に輸入された7歳雄のヘラジカが慢性消耗疾患で死亡した。本症例は米国およびカナダ以外の国での最初の症例であった。	210	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ膵臓	米国	製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	The Journal of Veterinary Medical Science 2003; 65(7): 761-8	慢性消耗疾患(CWD)は北米のシカやオオジカ等シカ類に見られるプリオン病であるが、ヒトへの感染は確認されていない。	210	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ膵臓	米国	製造工程
			576	大日本製薬	コンドロイチン硫酸鉄	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシ軟骨(気管)	米国、メキシコ	添加物
クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February7, 422-428	カニクイザルに、BSEに感染したカニクイザルの脳組織を静注及び経口で投与したところ、経口に比して静注の潜伏期間は短かった。末梢組織からのさらなるヒトへの感染を回避するために、vCJD患者血液を輸血された可能性のある症例に対しては、原発性vCJDと同じ予防策を適用すべきである。また、PrPresの分布は他の部位と比較して扁桃に多く、扁桃が生検スクリーニングの第一選択組織と判断すべきであると示唆された。	632	持田製薬	トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア	有効成分
			633	持田製薬	トロンピン	トロンボプラスチン	ウシ肺	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			634	持田製薬	1 硫酸フラジオマイシン・結晶トリブシン 2 インターフェロン	結晶トリブシン	ウシ脾臓	ニュージーランド	1 有効成分、2 製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 349(19): 1812-20	スイスで1996年～2002年にCJDで死亡した36人の患者の神経系以外の組織を調査したところ、患者の約1/3から脾臓や骨格筋にPrPscを検出した。罹患期間が長いほど、神経系以外にPrPscが存在すると考えられる。	376	日立化成工業	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	ヒト尿	中国	有効成分
			413	化学及血清療法研究所	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	スルホ化人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国(ペニロン) 日本(献血ペニロン-I)	有効成分
			414	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人アンチトロンピン	アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			437	日本ケミカルリサーチ	ミリモスチム	ミリモスチム	ヒト尿	中国	有効成分
			492	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			523	日立化成工業	抗アレルギー性物質	アレルギー性疾患患者から抽出、精製した抗アレルギー性物質	ヒト尿	日本	有効成分
			526	化学及血清療法研究所	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	抗破傷風人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分
			575	化学及血清療法研究所	1 乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	1,2 製造工程
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1～4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1～3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
クロイツフェルト・ヤコブ病	The Venterinary Record 2003; 152(13): 387-92	異常プリオン(PrPsc)の沈着部位に関する特徴を検証する目的の実験。PrPscは回腸遠位部パイエル氏板のリンパ濾胞内に限局したmacrophageに検出され、実験感染ウシ及びBSE自然発生ウシの場合、ともに関連リンパ系器官においては検出されなかった。神経症状の発現したウシにおいても、回腸の筋層間神経叢にはPrPscの免疫(染色)反応は殆ど認められなかった。	576	大日本製薬	コンドロイチン硫酸鉄	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシ軟骨(気管)	米国、メキシコ	添加物
クロイツフェルト・ヤコブ病	The Venterinary Record 2003; 153: 202-8	ノルウェーで1998年以降、従来型と異なる特性を持ったスクレイピーのヒツジ症例5例が診断され、新型スクレイピーNor98と命名された。	545	化学及血清療法研究所	1 乾燥細胞培養痘そうワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	コレステロール	ヒツジ毛	ニュージーランド、オーストラリア	1,4 製造工程、2,3 製造工程/添加剤
クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2003; 43(12): 1687-94	輸血によるvCJD感染の可能性を確認するため、vCJDモデルのマウスと非vCJDモデルのGSS病のマウスから調整した血液成分を各々健康なマウスの脳内に接種した。その結果、両者とも、パフィーコート、血漿に同等の感染性を示した。	588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分



感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
クロイツフェルト・ヤコブ病	USDA APHIS HP, BSE Update 1/23 2004	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。また追跡調査により、この感染牛は2001年にカナダから輸入されていた。米国農務省は関係機関と協力してBSE発生の原因を調査中。	502	中外製薬	エボエチンベータ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン(BSA)	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			505	中外製薬	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	牛肉	ウシ骨格筋	米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程
			506	中外製薬	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	BactoTeddHewitt	ウシ心臓、骨格筋、骨髄、脂肪組織、結合組織、乳、心臓、脾	ウシ:米国、オーストラリア、ニュージーランド、ブタ:米国、イタリア、カナダ	製造工程
			507	中外製薬	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	ペプトンN粉末	ウシ乳	ニュージーランド	製造工程
			508	中外製薬	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	スキムミルク	ウシ乳	米国	製造工程
			クロイツフェルト・ヤコブ病	USDA NEWS RELEASE ReleaseNo.0432.03	米国ワシントン州で飼育されていた歩行困難なホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEとして疑われた。	439	ノボルディスクファーマ	エプタコグアルファ(活性型)(遺伝子組換え)	エプタコグアルファ(活性型)(遺伝子組換え)
440	ノボルディスクファーマ	エプタコグアルファ(活性型)(遺伝子組換え)				ウシ胎仔血清	ウシ血液	ニュージーランド、米国又はカナダ	製造工程
441	ノボルディスクファーマ	エプタコグアルファ(活性型)(遺伝子組換え)				ウシ新生仔血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程
517	大塚製薬	インターフェロンアルファ(BALL-1)				ウシ胎仔血清	ウシ血液	アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2003; 85: 20-24	限外ろ過法は、フィルターマトリックスへの吸着ではなく、メカニカルストレインにより、免疫グロブリン剤からPrP <sup>Sc</sup> を除去することができる。	209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			212	バイエル薬品	pH4処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	英国Department of Health HP, Public Health Link 12/17, 2003	英国で、輸血により感染したと考えられるvCJDの初の症例が確認されたが、供血者と受血者の因果関係は証明されていない。	492	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			526	化学及血清療法研究所	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	抗破傷風人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分
			575	化学及血清療法研究所	1 乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	1,2 製造工程
クロイツフェルト・ヤコブ病	共同通信2003年12月24日	米国農務長官は、ワシントン州でBSEに感染したウシ1頭を確認したと発表。厚生労働省は直ちに医薬品等の輸入禁止はしないが、今後BSE非発生国のものに切り替えるかどうかを検討する方針である。	547	住友製薬	ヘパリンナトリウム注射液	ヘパリンナトリウム	ウシ肺	米国、カナダ	有効成分
クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP	平成15年10月、茨城県で23ヶ月齢の非定型的なBSE感染牛1頭(8例目)が確認された。	314	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	DNaseI	ウシ臍臓	アメリカ	製造工程
			315	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	ウシ胎児血清	ウシ血液	オーストラリア	製造工程
			316	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	カナダ	製造工程
			337	三菱ウェルファーマ	乾燥抗ヒトリンパ球ウマ免疫グロブリン	ウシ血清	ウシ血液	米国	製造工程
			338	三菱ウェルファーマ	肺サーファクタント製剤	サーファクタント	ウシ肺	ニュージーランド、オーストラリア	有効成分
			351	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	カナダ、米国、オーストラリア、NZ、コスタリカ、ニカラグア、エルサルバドル、パナマ又はウルグ	製造工程
			352	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	プラスミン	ウシ血清	米国、オーストラリア又はニュージーランド	製造工程
			362	三菱ウェルファーマ	アルテブラーゼ(遺伝子組換え)注射剤	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程
			367	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国	製造工程
			400	協和発酵工業	アルテブラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ血液	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程
			415	清水製薬	1 イソフェンインスリン水性懸濁注射液 2 インスリン注射液 3 インスリン亜鉛水性懸濁注射液 4 結晶性インスリン亜鉛水性懸濁注射液 5 プロタミンインスリン亜鉛水性懸濁注射液	インスリン	ウシ臍臓	アメリカ、カナダ	1~5 有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分			
			465	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	フェツイン	ウシ血清由来	カナダ、米国、ニュージーランド	製造工程			
			466	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ペプトン	ウマの脾臓、脛、ウシの心臓、脾臓及びブタのラードウォーター	ウシの原産国：米国	製造工程			
			467	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	D - ガラクトース	ウシ乳汁	米国	製造工程			
			468	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血清	カナダ、米国、ニュージーランド	製造工程			
			478	三菱ウェルファーマ	日局カリジノゲナーゼ	ウシ胎仔血清	ウシ血液	日本	有効成分			
			502	中外製薬	エポエチンベータ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン(BSA)	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程			
			505	中外製薬	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	牛肉	ウシ骨格筋	米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程			
			506	中外製薬	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	BactoTeddHewitt	ウシ心臓、骨格筋、骨髄、脂肪組織、結合組織、乳、ブタ心臓、脾	ウシ：米国、オーストラリア、ニュージーランド、ブタ：米国、イタリア、カナダ	製造工程			
			507	中外製薬	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	ペプトンN粉末	ウシ乳	ニュージーランド	製造工程			
			508	中外製薬	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	スキムミルク	ウシ乳	米国	製造工程			
			525	三菱ウェルファーマ	アプロチニン製剤	アプロチニン液	ウシ肺	米国、ウルグアイ、ニュージーラ	有効成分			
			576	大日本製薬	コンドロイチン硫酸鉄	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシ軟骨(気管)	米国、メキシコ	添加物			
			クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP	米国ワシントン州で飼育されていたホルスタイン種ウシ1頭が米国で初めてBSEとして疑われた。	626	萬有製薬	肺炎球菌ワクチン	リボヌクレアーゼ	ウシ脾臓	米国、カナダ	製造工程
						627	萬有製薬	肺炎球菌ワクチン	デオキシリボヌクレアーゼ	ウシ脾臓	米国、カナダ	製造工程
			628	萬有製薬	肺炎球菌ワクチン	トリプシン	ウシ脾臓	米国、カナダ	製造工程			
			629	萬有製薬	肺炎球菌ワクチン	スキムミルク	ウシ乳	米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程			

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			630	萬有製薬	肺炎球菌ワクチン	ハートインフュージョンブロス	ウシ心臓、ウシ骨格筋、ウシ脂肪組織、ウシ骨髄、ウシ結合組織	米国、カナダ、オーストラリア	製造工程
			636	味の素ファルマ	高カロリー輸液用微量元素製剤	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシ軟骨(気管)	アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ	添加物
クロイツフェルト・ヤコブ病	ニュージーランド保健省HP 8/15、2003	ニュージーランドでvCJD感染のおそれがあった症例は、扁桃腺の試験が陰性であったことから、vCJDの診断を除外した。	611	ベネシス	1、2、3、4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1~4 有効成分、5、6 添加物
			612	ベネシス	1、2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			205	ベネシス	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン 3 ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国	1~3 有効成分
			303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血：米国、献血：日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1、2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1、2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1、2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物			
クロイツフェルト・ヤコブ病	読売新聞2003年10月12日	日本での8例目のBSE感染牛と異常プリオンの構造が同じと見られるウシ2頭が、2002年イタリアで確認されていた。	314	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	DNaseI	ウシ脾臓	アメリカ	製造工程
			315	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	ウシ胎児血清	ウシ血液	オーストラリア	製造工程
			316	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	カナダ	製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
後天性免疫不全症候群	ProMED 7/31, 2003 (El Tiempo, 7/29 2003)	日本赤十字社はウイルス性肝炎等感染者がウインドウ期に献血した6419本の血液由来の血液製剤の遡及調査を実施。	536	アラガン	A型ボツリヌス毒素	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物
後天性免疫不全症候群	Vox Sanguinis 2003; 85: 73-9	HIV-1サブタイプEの初期感染例において、第四世代EIA法は第三世代EIA法と比べ感度が高いためウインドウペリオドを短縮できることが示唆された。	209	バイエル薬品	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程
			211	バイエル薬品	1 人血清アルブミン 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
			212	バイエル薬品	pH4処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			213	バイエル薬品	1 加熱人血漿たん白 2 オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	1 有効成分、2 製造工程
高熱	ProMED 12/4, 2003 (Tyumenskaya 12/1, 2003)	ロシア・ハンティマンシ自治管区において、住民80名が原因不明の感染症に罹患した。症状は高熱、咽頭痛、消耗性の咳嗽である。	584	エーザイ	セクレチン	セクレチン	ブタ十二指腸		有効成分
細菌感染	AABB Association Bulletin #03-12, 2003, 10/1	米国血液銀行協会の血小板製剤ガイドス。血小板製剤の細菌汚染は0.1～0.3%の頻度で発生する。この問題に対して採血時における初血除去や汚染製剤を同定し、使用を回避する等の対策が示された。	402	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			403	日本赤十字社	人全血液	人全血液	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
細菌感染(鼻疽・類鼻疽)	ProMED 7/31, 8/1, 8/8, 8/21, 2003 (News-Leader Ozarks 7/29, Craig Carter 7/29, Springfield News 8/1, Duluth News Tribune 8/1, Reuters.com 8/6, CNN.com 8/19, 2003)	中東に駐留した米国ミズーリ州の兵士が肺炎で2名が死亡、15名が感染。鼻疽・類鼻疽が疑われた。	158	北里研究所	1 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 ジフテリアトキソイド	ウマ血清	ウマ血液	米国	製造工程
			160	北里研究所	1、2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 沈降精製百日せきワクチン 5 百日せきワクチン	ウマ脱繊維血	ウマ血液	ニュージーランド	製造工程
			161	北里研究所	1 乾燥破傷風抗毒素 2 乾燥まむし抗毒素 3 ワイル病治療血清 4 乾燥ジフテリア抗毒素	ウマ血漿	ウマ血液	日本	1～4 製造工程
サイトメガロウイルス感染	Xenotransplantation 2003; 10: 142-8	ヒトCD55トランスジェニックブタについてブタサイトメガロウイルスの存在を調査したところ、感染が認められたすべてのブタにおいて脾臓でウイルスDNAが陽性であったことから、トナーブタの品質管理を確認する際に、脾臓を検査することの意義について検討。	262	テルモ	ヘパリンナトリウム	ヘパリン	ブタ小腸粘膜	米国、中国	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
サルモネラ菌性胃腸炎	Journal of Clinical Microbiology 2003; 41(12): 5366-71	米国で広域抗菌スペクトルに耐性を持つSalmonella enterica Newport株がヒト及び動物の両者で病原菌として急速に広がっている。Newport株について遺伝子を調べた結果、Salmonella enterica Newport株のMDR-AmpC型がヒト及び動物から共通して見出されたことから、食物連鎖によってMDR-AmpC型の株がヒトへ感染する可能性が示唆された。	576	大日本製薬	コンドロイチン硫酸鉄	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシ軟骨(気管)	米国、メキシコ	添加物
ジフテリア	ProMED 9/27, 2003 (Times of India 9/17, 2003)	インドで、最近2週間にジフテリアに非常によく似た病態を呈する原因不明の疾患の患者6名が発生、そのうち1名が死亡した。	349	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗モンテブラーゼモノクローナル抗体	マウス腹水		製造工程
			350	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	遺伝子組換え細胞	ベビーハムスターの腎臓		製造工程
			351	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	カナダ、米国、オーストラリア、NZ、コスタリカ、ニカラグア、エルサルバドル、パナマ又はウルグ	製造工程
			352	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	ブラスミン	ウシ血清	米国、オーストラリア又はニュージーランド	製造工程
			353	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗不純蛋白質抗体	ウサギ血清		製造工程
			354	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	トリブシン	ブタ膵臓		製造工程
			355	エーザイ	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜		有効成分
			584	エーザイ	セクレチン	セクレチン	ブタ十二指腸		有効成分
			重症急性呼吸器症候群	CDC MMWR, 10/17, 2003/52(41): 986-7	中国で動物取引業者と対照群のSARSコロナウイルスIgG抗体の血清保有状況を比較した結果、動物取引業者の抗体陽性率が13%に対し対照群は1~3%であり、SARSが人畜共通感染症であることが示唆された。	437	日本ケミカルリサーチ	ミリモスチム	ミリモスチム
重症急性呼吸器症候群	FDA Guidance for Industry, September 2003	米国FDAが発出したSARSに対する血液製剤の安全性評価に関する業界向け最終ガイダンス。	325	日本製薬	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体	ヒト血液	米国	有効成分
			326	日本製薬	人免疫グロブリン	免疫グロブリンG	ヒト血液	日本	有効成分
			360	化学及血清療法研究所	1 乾燥弱毒生風しんワクチン 2 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	人血清アルブミン	ヒト血液		1,2 添加物/製造工程
			361	化学及血清療法研究所	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ペプシン処理人免疫グロブリンG分層	ヒト血液		有効成分
			413	化学及血清療法研究所	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	スルホ化人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国(ベニロン) 日本(献血ベニロン-I)	有効成分
			414	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人アンチトロンピン	アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			469	日本製薬	乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子複合体	ヒト血液	日本	有効成分
			492	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			526	化学及血清療法研究所	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	抗破傷風人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分
			575	化学及血清療法研究所	1 乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	1,2 製造工程
			639	日本製薬	1,2 ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、現在は製造していない	1,2 添加物
			640	日本製薬	1,2,3 トロンピン	トロンピン	ヒト血液	日本、は未発売	有効成分
			641	日本製薬	1,2 人血清アルブミン 3,4 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、は現在製造していない	有効成分
			642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、は現在製造していない	有効成分
			643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
重症急性呼吸器症候群	IASR 2003; 24(12) (CDC MMWR, 10/17, 2003/52(41): 986-7)	中国で動物取引業者と対照群のSARSコロナウイルスIgG抗体の血清保有状況を比較した結果、動物取引業者の抗体陽性率が13%に対し対照群は1~3%であり、SARSが人畜共通感染症であることが示唆された。	567	持田製薬	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	ヒト(妊婦)尿		有効成分
			635	持田製薬	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	ヒト尿		有効成分
重症急性呼吸器症候群	Infectious Agents Surveillance Report 2003; 24(12): 330	米国CDC・MMWRによると、中国広東省での調査の結果、SARSコロナウイルスが無症状感染を起こすという血清学的証拠が示唆された。	432	持田製薬	インターフェロンアルファ	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物/製造工程
重症急性呼吸器症候群	ProMED 9/25, 2003 (Channel News Asia 9/24, 2003)	中国広東省でSARSが流行発生する前に採取した2001~2002年の血液検体1621件のうち、16検体がSARSウイルス抗体陽性となった。	311	持田製薬	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿		有効成分
			312	持田製薬	下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性腺刺激ホルモン(hMG)	ヒト(閉経期婦人)尿		有効成分
重症急性呼吸器症候群	ProMED 9/25, 2003 (Guangzhou Daily 9/24, 2003)	中国広東省でSARSが流行発生する前に採取した2001~2002年の血液検体1621件のうち、16検体がSARSウイルス抗体陽性となった。	432	持田製薬	インターフェロンアルファ	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物/製造工程
			567	持田製薬	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	ヒト(妊婦)尿		有効成分
			635	持田製薬	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	ヒト尿		有効成分
重症急性呼吸器症候群	THE LANCET 2003; vol.362, August30, 714	カナダ・プリティッシュコロンビア州で、2003年7月以降にSARSの流行の疑いがあったが、調査の結果、SARSウイルスとは違うコロナウイルスの他の型であろうと推測されている。	303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血: 米国、献血: 日本	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
重症急性呼吸器症候群	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 348(20): 1953-66	中国他7ヵ国において、コロナウイルスによるSARSが爆発的に発生。媒介は動物で、ヒトの移動により拡大したと考えられた。原因は新しいタイプのコロナウイルスである。	333	東和薬品	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿抽出物	中国	有効成分
重症急性呼吸器症候群	WHO HP CSR Update4 1/28, 2004	中国保健当局は、2004年1月17日に広東省における2例目のSARS検査確定例を公表した。20歳女性で、既に回復し退院した。また、3例目となりうる予備試験陽性の可能性例(35歳・男性)も確認されているが、この男性も既に回復し退院している。1例目も含めたこれら患者から、他への感染は発生せず、感染源は確定できなかった。	611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
重症急性呼吸器症候群	WHO HP Disease Outbreak Reported 1/5, 2004	中国広東省で2003年12月20日より治療を受けていた32歳の男性がSARSであることが判明した。	611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
重症急性呼吸器症候群	WHO Weekly Epidemiological Record 2003; No.35, August 29: 311	2002年11月~2003年8月のSARSの罹患累積数、死亡症例数を国別に掲載。	291	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマー1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	1,2 添加物



感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
重症急性呼吸器症候群	WHO WPRO HP SARS Press Releases 1/19, 2004	中国で2003年夏のSARS終息宣言後、初のSARS感染者3名が広東省で確認された。感染源については未だ特定されていないが、3名は2003年の集団発生時に確認された症例より症状は軽かった。	616	富士製薬工業	脳下垂体ホルモン剤	胎盤性性腺刺激ホルモン	妊婦の尿抽出物	中国、ブラジル	有効成分
シュードモナス感染	J Hosp Infect 2003 54(2) 158-60	フランスで抗生物質を投与されていた63例の妊婦中、11例で膣分泌液から緑膿菌が検出された。そのうち5例が出生新生児で菌検出あるいは感染が確認され、うち3例が劇症の敗血症のため死亡、疫学的調査から母子感染が確認された。新生児感染の独立したリスクは、抗生物質での治療期間と出産回数だった。	537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
人畜共通感染症(サル痘)	FDA HP/CDC/MEDIA RELATION/ August 7, 2003	米国CDCによると、2003年7月30日現在の米国におけるサルのサル痘は、調査中72例、検査確定37例である。	205	ベネシス	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン 3 ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国	1~3 有効成分
			291	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマー1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	1,2 添加物
			303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血:米国、献血:日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1~3 有効成分
613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分			
人畜共通感染症(サル痘)	Pediatric Infectious Disease Journal 2003; 22(12): 1093-6	アフリカの一部に限局されていたサル痘ウイルス病が米国で発症した。感染源は、アフリカから輸入した小型のほ乳類とともに飼育されていたプレーリードッグであった。	588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
セントルイス脳炎	2theadovocate.com 9/24, 2003	米国ルイジアナ州で4名のセントルイス脳炎患者が発生し、うち1名が死亡した。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
大腸菌性胃腸炎 (腸管出血性大腸菌O118)	Emerging Infectious Diseases 2003; 9(8): 1027-8	2002年2月、ブラジル・サンパウロでウシ便を調査したところ、多剤耐性の腸管出血性大腸菌O118が発見された。	146	沢井製薬	コンドロイチン硫酸ナトリウム	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシ又はサメの軟骨	ウシ:アメリカ	有効成分
炭疽	PRAVDA.Ru 10/2, 2003	ロシア・Volgogradでウシからヒトへの炭疽の感染が発生、患者3名が記録され、うち2名は精肉包装工場で感染した。	314	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	DNaseI	ウシ臍臓	アメリカ	製造工程
			315	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	ウシ胎児血清	ウシ血液	オーストラリア	製造工程
			316	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	カナダ	製造工程
			348	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	HBs抗原たん白質(huGK-14細胞由来)	ヒト肝臓	日本	有効成分
炭疽	ProMED 1/31, 2004 (Novosti Rossii 1/29, 2004)	ロシア・Ulyanovsk地域、Sengiley市の小規模農場で生後7ヶ月のブタから炭疽菌が確認された。このブタと接触のあった4名が入院した。	615	伊藤ライフサイエンス	バルナバリンナトリウム	バルナバリンナトリウム	ブタ腸粘膜	アルゼンチン	有効成分
炭疽	ProMED 10/17, 2003 (IRINNEWS.org/国連人道問題調整局)	キルギスタン南部で炭疽に感染したウシから、ヒト8名に感染した疑いがあり、現在入院中である。	264	伊藤ライフサイエンス	日局トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア、アルゼンチン	有効成分
炭疽	ProMED 10/4, 2003 (Pravda 10/2, 2003)	ロシア・Volgogradでウシからヒトへの炭疽の感染が発生、患者3名が記録され、うち2名は精肉包装工場で感染した。	264	伊藤ライフサイエンス	日局トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア、アルゼンチン	有効成分
炭疽	ProMED 2/5, 2004 (ITAR-TASS 2/4, 2004)	ロシア・Ulyanovsk地域、Sengiley市で生後7ヶ月のブタから炭疽菌が確認、このブタと接触のあった4名が入院したが、新たに1名の男性患者が炭疽の疑いで入院したことが確認された。	615	伊藤ライフサイエンス	バルナバリンナトリウム	バルナバリンナトリウム	ブタ腸粘膜	アルゼンチン	有効成分
炭疽	ProMED 8/12, 2003 (News release 8/12, 2003)	米国サウスダコタ州Butte郡の大規模ウシ牧場で炭疽が発生し、ウシ160頭が感染、うち10頭が死亡した。	173	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ蛋白加水分解物	ウシ脾臓、ウシ血液	米国	製造工程
			174	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ臍臓	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程
			175	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			176	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシリポ蛋白質	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			177	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、カナダ、オーストラリア	製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			178	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシアボトランスフェリン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
炭疽	ProMED 8/19, 2003 (Allan Preston 8/19, 2003)	カナダ・マニトバ州でウシの炭疽が1症例発生。	173	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ蛋白加水分解物	ウシ脾臓、ウシ血液	米国	製造工程
			174	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ膵臓	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程
			175	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			176	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシリボプロテイン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			177	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、カナダ、オーストラリア	製造工程
			178	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシアボトランスフェリン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			296	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アプロチニン	ウシ肺	ウルグアイ、ニュージーランド	有効成分
302	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	トロンピン画分	ウシ血液	ニュージーランド	有効成分			
デング熱	British Medical Journal 2003; 327(7428): 1368	デング熱は周期的に流行する傾向がある。また、近年は発生地域も拡大する傾向がある。2004年にはデング熱の大流行が起こると予想する国は多い。	588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
デング熱	ProMED-mail 10/8, 2003 (HK Dept of Health 10/7, 2003 Press Release)	中国香港で、衛生署と食品環境衛生署は本年初のデング熱の地域内感染確定例(26歳・男性)を確認、予防措置を取るよう警告した。	364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
伝染性紅斑	British Journal of Haematology 2003; 121(6): 955-6	免疫グロブリン製剤投与によるバルボウイルス感染を主張する最初の報告に対するレビュー。免疫グロブリン投与自体が伝染性紅斑の推奨治療法であることから、ウイルスのDNA配列検査等、より明確な因果関係評価による再検討が必要である。	583	日本シエーリング	インターフェロンベータ1b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
東部ウマ脳炎	Baltimore Sun, 7/30. 2003	米国メリーランド州東海岸部で飼育されていたウマ2頭が東部ウマ脳炎に感染した。	168	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	プリマトンHS / UF	ウシ脾臓、心臓、ウマ脾臓、脛	ウシ:米国、ウマ:米国、カナダ	製造工程
東部ウマ脳炎	Herald Tribune, 8/14. 2003	米国ルイジアナ州で飼育されていたウマ9頭が東部ウマ脳炎に感染した。	168	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	プリマトンHS / UF	ウシ脾臓、心臓、ウマ脾臓、脛	ウシ:米国、ウマ:米国、カナダ	製造工程
東部ウマ脳炎	Infectious Diseases News Brief, Health Canada 8/29, 2003	米国ノースカロライナ州で、スコットランド郡の小児が東部ウマ脳炎に感染したことが確認された。同州で今年初めてのヒトへの感染事例である。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
			301	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ウマコラーゲン	ウマアキレス腱	フランス、ドイツ、ベルギー、イタリア	有効成分
東部ウマ脳炎	News and Record, 8/20. 2003	米国ノースカロライナ州で飼育されていたウマ1頭が東部ウマ脳炎に感染した。今年には州内で動物での東部ウマ脳炎感染確定例が73例発生している。	168	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	プリマトンHS / UF	ウシ脾臓、心臓、ウマ脾臓、脛	ウシ:米国、ウマ:米国、カナダ	製造工程
東部ウマ脳炎	Philadelphia Inquirer, 8/20. 2003	米国ニュージャージー州で飼育されていたサラブレッド1頭が東部ウマ脳炎に感染した。	168	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	プリマトンHS / UF	ウシ脾臓、心臓、ウマ脾臓、脛	ウシ:米国、ウマ:米国、カナダ	製造工程
東部ウマ脳炎	ProMED 8/1, 8/9, 8/21, 2003 (Baltimore Sun 7/30, Annoston Star 8/7, News and Record 8/20. 2003)	米国で東部ウマ脳炎による人の死亡(アラバマ州で2例)、ウマの感染が確認されている。	158	北里研究所	1 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 ジフテリアトキソイド 5 ジフテリア破傷風混合トキソイド	ウマ血清	ウマ血液	米国	製造工程
			160	北里研究所	1,2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 沈降精製百日せきワクチン 5 百日せきワクチン	ウマ脱繊維血	ウマ血液	ニュージャージーランド	製造工程
			161	北里研究所	1 乾燥破傷風抗毒素 2 乾燥まむし抗毒素 3 ワイル病治療血清 4 乾燥ジフテリア抗毒素	ウマ血漿	ウマ血液	日本	1~4 製造工程
東部ウマ脳炎	ProMED-mail 8/2, 2003 (Baltimore Sun 7/30, 2003)	米国メリーランド州東海岸部で飼育されていたウマ2頭が東部ウマ脳炎に感染した。	205	ベネシス	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン 3 ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国	1~3 有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
東部ウマ脳炎	ProMED-mail 8/2, 2003 (Baltimore Sun 7/30, 2003)	米国メリーランド州東海岸部で飼育されていたウマ2頭が東部ウマ脳炎に感染した。	303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血: 米国、献血: 日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			393	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ウマIgG	ウマ血液		製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1~3 有効成分			
613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分			
東部ウマ脳炎	ProMED-mail 9/29, 2003 (Richmond Times-Dispatch 9/25, 2003)	米国バージニア州で70歳代の男性が東部ウマ脳炎で死亡した。同州で今年初めての東部ウマ脳炎の死亡例である。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
			301	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ウマコラーゲン	ウマアキレス腱	フランス、ドイツ、ベルギー、イタリア	有効成分
トキソプラズマ症	Ann Agric Environ Med 2003; 10: 125-8	ポーランドでヒトのトキソプラズマ症が見つかった農場において、検査したウサギ2羽から高力価のトキソプラズマIgG抗体が検出され、調査した結果、ウサギがトキソプラズマの感染源となることが示唆された。	233	大洋薬品工業	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ウサギ	中国	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
トリコスポロン感染	J Mycol Med 2003; 13: 155-6	Trichosporon mucoidesが糖尿病患者の尿から分離された。本菌は表在性感染として検出されるが、時々、免疫能が低下した全身性感染症にも見られる。本症例は尿路感染に関連した最初の報告である。	635	持田製薬	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	ヒト尿		有効成分
日本脳炎B型	OIE Diseases Information, 9/20 2003; Vol.16-No.39	2003年8月、鳥取県でウマ1頭が日本脳炎で斃死した。日本のウマでは15年ぶりの日本脳炎の発生で、他に日本脳炎の疑いのあるウマは5頭いる。	393	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ウマIgG	ウマ血液		製造工程
日本脳炎B型	日本ウイルス学会第51回学術総会2003 10/27-29 研究発表抄録198	日本各地のウマの日本脳炎ウイルス(JEV)NS1抗体の保有状況を調査し、自然感染率を推定したところ、比較的高い頻度でJEVの曝露を受けていることが明らかになった。	569	化学及血清療法研究所	1 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 2 ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 ジフテリアトキソイド	血清	ウマ血液		1~6 製造工程
			570	化学及血清療法研究所	乾燥はぶウマ抗毒素	はぶウマ抗毒素	ウマ血液	日本	有効成分
			571	化学及血清療法研究所	乾燥まむしウマ抗毒素	マムシウマ抗毒素	ウマ血液	日本	有効成分
尿路感染	Scand Journal of Infectious Diseases 2003; 5: 512-4	イスラエルで溶血性肺炎球菌がヒト尿検体から分離された78歳男性の症例報告。	245	高田製薬	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
脳炎	ProMED 10/13, 2003 (Nweday 10/12, 2003)	米国ニューヨーク市スタテンアイランド地区住民の4名が原因不明の脳炎で重体入院中。SARSは除外、WNV検査陰性で、今後とも検査等を実施する。	355	エーザイ	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜		有効成分
			584	エーザイ	セクレチン	セクレチン	ブタ十二指腸		有効成分
野兔病	Eurosurveillance Weekly 2003; 7(33): 8/14	スウェーデンにおいて、2003年7月1日~8月11日に109例の野兔病患者がスウェーデン感染症研究所(SMI)に届けられた。	233	大洋薬品工業	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ウサギ	中国	有効成分
野兔病	ProMED-mail 9/2, 2003 (Rock Springs Daily Rocket-Miner, Associated Press, 9/2, 2003)	米国ワイオミング州で生後18ヶ月の女児が虫(メクラアブ)に刺され、野兔病に感染した。小児が野兔病に感染するのは珍しい。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
			300	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	トロンボプラスチン	ウサギ脳	ニュージーランド	製造工程
肺炎	ProMED 8/29, 2003 (The Sidney Morning Herald, 8/28 2003 & The New Zealand Herald, 8/28 2003)	ニュージーランドで原因不明の肺出血で3名が突然死。	291	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマー1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	1,2 添加物
			349	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗モンテブラーゼモノクローナル抗体	マウス腹水		製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			350	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	遺伝子組換え細胞	ベビーハムスターの腎臓		製造工程
			351	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	カナダ、米国、オーストラリア、NZ、コスタリカ、ニカラグア、エルサルバドル、パナマ又はウルグ	製造工程
			352	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	ブラスミン	ウシ血清	米国、オーストラリア又はニュージーランド	製造工程
			353	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗不純蛋白質抗体	ウサギ血清		製造工程
			354	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	トリブシン	ブタ脾臓		製造工程
			355	エーザイ	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜		有効成分
			584	エーザイ	セクレチン	セクレチン	ブタ十二指腸		有効成分
肺炎	The New Zealand Herald 2003/8/28	ニュージーランドで原因不明の肺出血で3名が突然死。	186	第一サントリーファーマ	インターフェロンガンマ1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物
肺炎	The Sidney Morning Herald 2003/8/28	ニュージーランドで原因不明の肺出血で3名が突然死。	186	第一サントリーファーマ	インターフェロンガンマ1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物
肺炎球菌性敗血症	臨床血液 2003; 44(6): 381-385	血小板輸血を受けた原発性骨髄繊維症の男性が敗血症性ショックで死亡した。白血球除去フィルターと凍結血漿から肺炎球菌が検出され、ショックの原因ではないかと疑われた。	291	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマ1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	1,2 添加物
梅毒	CDR Weekly HP July 31; 2003	南ロンドンで異性間の梅毒症例が増加。2001年の症例数25に比べ、2003年は5ヶ月で40症例に達している。	348	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	HBs抗原たん白質(huGK-14細胞由来)	ヒト肝臓	日本	有効成分
梅毒	Infectious Diseases News Brief, Health Canada 8/15, 2003	南ロンドンで異性間の梅毒症例が2001年に比べ3倍増。症例の大部分が男性同性愛者で、高率でHIVにも感染していた。	348	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	HBs抗原たん白質(huGK-14細胞由来)	ヒト肝臓	日本	有効成分
破傷風	Infectious Diseases News Brief, Health Canada 11/28, 2003	2003年7月以降、英国で注射による薬物使用者における破傷風の5例が報告されている。いずれもここ2週間に報告されていること、地理的に広範囲分布していることから、薬物使用者での更なる破傷風発生が予想される。	537	シュering・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
破傷風	ProMED 11/30, 2003 (The Guedian 11/24, 2003)	英国で破傷風により女性1名が死亡し、その他5名の患者が発生した。静注薬物乱用者での破傷風流行が疑われる。	537	シュering・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
破傷風	ProMED 12/2, 2003 (英国保健保護局 11/30, 2003)	2003年7月以降、英国西部で注射による薬物中毒者から死亡患者1名を含む破傷風の7名が報告されている。今回の事例が1ロットの薬物汚染が原因とすれば、破傷風の潜伏期は4~14日であるので、流行はほぼ終息した可能性がある。	537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
破傷風	ProMED 12/9, 2003 (Eurosurveillance 7(49) 12/4, 2003)	2003年7月以降、英国西部で注射による薬物中毒者から死亡患者1名を含む破傷風の8名が報告されている。今回の事例が1ロットの薬物汚染が原因とすれば、破傷風の潜伏期は4~14日であるので、流行はほぼ終息した可能性がある。	537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
パストレラ菌性敗血症	Scandinavian Journal of Infections Diseases 2003; 35(8): 512-4	イスラエルで78歳の灼熱感、排尿困難を訴えた男性患者の尿からパストレラ菌が検出された。患者は飼犬に噛まれたことはなく、動物によるスクラッチや咬傷はなかった。	567	持田製薬	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	ヒト(妊婦)尿		有効成分
			635	持田製薬	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	ヒト尿		有効成分
発熱(不明)	ProMED 9/18, 2003 (Channel News Asia 9/18, 2003 & The Times of India 9/18, 2003)	インド北部で原因不明の致死的な感染症が流行し、10名が死亡、30名が入院中である。	291	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマー1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	1,2 添加物
			349	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗モンテブラーゼモノクローナル抗体	マウス腹水		製造工程
			350	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	遺伝子組換え細胞	ベビーハムスターの腎臓		製造工程
			351	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	カナダ、米国、オーストラリア、NZ、コスタリカ、ニカラグア、エルサルバドル、パナマ又はウルグ	製造工程
			352	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	プラスミン	ウシ血清	米国、オーストラリア又はニュージーランド	製造工程
			353	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗不純蛋白質抗体	ウサギ血清		製造工程
			354	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓		製造工程
			355	エーザイ	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜		有効成分
			584	エーザイ	セクレチン	セクレチン	ブタ十二指腸		有効成分
			発熱(不明)	ProMED 9/20, 2003 (NDTV.com 9/20, 2003 & GIDEON 9/19, 2003)	インドで過去3年間モンスーンの季節に原因不明の感染症で総数60名以上が死亡、専門家が調査に取り組んでいる。地元医師は、紅斑熱もしくは発疹チフスを疑っている。	349	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗モンテブラーゼモノクローナル抗体
350	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)				遺伝子組換え細胞	ベビーハムスターの腎臓		製造工程



感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			351	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	カナダ、米国、オーストラリア、NZ、コスタリカ、ニカラグア、エルサルバドル、パナマ又はウルグ	製造工程
			352	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	プラスミン	ウシ血清	米国、オーストラリア又はニュージーランド	製造工程
			353	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗不純蛋白質抗体	ウサギ血清		製造工程
			354	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓		製造工程
			355	エーザイ	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜		有効成分
			584	エーザイ	セクレチン	セクレチン	ブタ十二指腸		有効成分
パベシア症	Journal of Clinical Microbiology 2003; 41(8): 3494-8	日本のイヌに寄生するイヌダニについてDNA塩基配列分析法で調査した結果、Babesia canis vogeli DNAの部分的配列やBabesia gibsoni Asia-1DNA、さらにはBabesia odocoileiとBabesia divergensの塩基配列に類似した新塩基配列が検出された。	224	日本赤十字社	洗浄人赤血球浮遊液	洗浄人赤血球浮遊液	ヒト血液	日本	有効成分
			226	日本赤十字社	白血球除去人赤血球浮遊液	白血球除去人赤血球浮遊液	ヒト血液	日本	有効成分
			227	日本赤十字社	新鮮凍結人血漿	新鮮凍結人血漿	ヒト血液	日本	有効成分
			228	日本赤十字社	人血小板濃厚液	人血小板濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			344	日本赤十字社	解凍人赤血球濃厚液	解凍人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			402	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			403	日本赤十字社	人全血液	人全血液	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
パベシア症	Transfusion 2003; 43(9s): S44-030H, Special Abstract Supplement 56th Annual Meeting	米国において、パベシア症の原因となるB.Microti感染が疑われ、血清学的検査が陽転した供血者(54人)の遡及調査を行った。これにより、調査前12ヶ月以内に当該供血者の血液から製造された輸血用血液製剤の受血者にB.Microti感染の可能性が高いことが示唆された。	589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
パルボウイルス感染	Complementary Medicines Evaluation Committee(CMEC) Public Recommendation Summary, Meeting 43, 11/28, 2003	オーストラリア代替医療評価委員会(CMEC)は、ブタ由来の膵臓酵素抽出物を含む製品は、登録代替医薬品の材料としての使用に適しており、ブタパルボウイルス(PPV)の感染性を減らすのに適切な方法や要件導入の時期について、TGA (Therapeutic Goods Administration)が企業に意見を求めること、PPV不活化のバリデーションを行うことなどを勧告した。	614	ベネシス	1,2 人血清アルブミン 3 乾燥濃縮人アンチトロンピン 4 人ハプトグロビン	ヘパリン	ブタ小腸粘膜		1~4 製造工程
パルボウイルス感染	Vox Sanguinis 2002; 82(1): 18-23	PVB19が高濃度の供血は、迅速で簡便な赤血球凝集法により検出が可能であり、また中和抗体の存在は特異的な赤血球凝集反応を妨げる可能性がある。	205	ベネシス	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン 3 ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国	1~3 有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血:米 国、献血:日 本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有 人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精 製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗 破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリ	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細 胞培養)	ヒト腎細 胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製 造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日 本、 米 国	1~4 有効 成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米国	1~3 有効 成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
ハンタウイルス感 染	Journal of Clinical Microbiology 2003; 41(10): 4894-7	ドイツでヨーロッパに広く分布するハタネズミによって媒介さ れるハンタウイルス属ツラ種の感染により腎症候性出血熱 と肺炎を併発した初めての症例の報告。	358	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブ リン	ヒト血液	日本	有効成分
			402	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			403	日本赤十字社	人全血液	人全血液	ヒト血液	日本	有効成分
			588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
ハンタウイルス性 肺感染	Amarillo Globe News 8/16, 2003	米国テキサス州アマリロで、ハンタウイルス感染により1名が 死亡した。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画 分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オ ーストリア、米 国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画 分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オ ーストリア、米 国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画 分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オ ーストリア、米 国	添加物
ハンタウイルス性 肺感染	ProMED-mail 8/9, 2003 (Contra Costa Times 8/9, 2003)	米国カリフォルニア州で今年初めてのハンタウイルス肺症候 群(HPS)の患者が発生した。カリフォルニア州では1993年以 降36例のHPSが発生しており、昨年には2名のHPSが発生し た。	205	ベネシス	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 乾燥ポリエチレングリコール処 理抗HBs人免疫グロブリン 3 ポリエチレングリコール処理抗 HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国	1~3 有効 成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血:米 国、献血:日 本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有 人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精 製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗 破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリ	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細 胞培養)	ヒト腎細 胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製 造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日 本、 米 国	1~4 有効 成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日 本、 米 国	1~3 有効 成分
613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分			
ヒトのエールリッピア症	ProMED-mail 9/3, 2003 (Berkshire Eagle 9/2, 2003)	米国マサチューセッツ州でマダニによるエールリッピア症が流行、73名が罹患し州保健局から警告が発表されている。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画 分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オ ーストリア、米 国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画 分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オ ーストリア、米 国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画 分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オ ーストリア、米 国	添加物
ヒトのエールリッピア症	Transfusion 2003; 43(9s): SP8, Special Abstract Supplement 56th Annual Meeting	米国でヒト顆粒球性エールリッピア症の病原体に対する抗体保有率が3~4%に達する州がある。冷蔵保存した血液中 で18日生存する本病原体は輸血用血液にとって脅威となる 可能性がある。	589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
ブルセラ症	ProMED-mail 10/2, 2003 (News Release, Texas Animal Health Commission 10/1, 2003)	米国テキサス州でブルセラ症に罹患したウシの群を確認。ウシのブルセラ症が根絶されていないのは、テキサス州及びミ ズーリ州の2州のみである。	296	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画 分、アプロチニン	アプロチニン	ウシ肺	ウルグアイ、 ニュージーラ ンド	有効成分
			302	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画 分、アプロチニン	トロンピン画分	ウシ血液	ニュージーラ ンド	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
ヘルペスウイルス感染	Transfusion 2003; 43(12): 1764-5	ブラジルで供血者におけるヒトヘルペスウイルス8型(HHV-8)の抗体検査及びDNA測定を行った結果、HHV-8が輸血により伝播する可能性が示唆された。	514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
マイコプラズマ感染	Rheumatol Int 2003; 23: 211-5	慢性疲労症候群及び線維筋肉痛症候群の血液をPCRで測定した結果、約50%にマイコプラズマ感染が確認された。これは健康人のマイコプラズマ感染率約10%と比べ、高率であった。	364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗 破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、 米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			マラリア	AABB Weekly Report. 2003; 11/14	米国CDCはPRBCsを投与後、マラリアを発症した可能性例1例について、関連したドナー1名はマラリア抗体の保持が確認されたと報告。	537	シェリング・ブラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン
マラリア	CDC MMWR, 11/7, 2003/52(44): 1075-6	2003年3月、米国テキサス州ヒューストンで赤血球輸血を介したマラリア感染を疑う69歳男性の症例報告。2名のドナーの血液からはマラリアの抗体、DNAは確認されなかった。	413	化学及血清療法研究所	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	スルホ化人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国(ベニロン) 日本(献血ベニロン-1)	有効成分
			414	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人アンチトロンピン	アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
			432	持田製薬	インターフェロンアルファ	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物/製造工程
			492	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			526	化学及血清療法研究所	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	抗破傷風人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分
			537	シェリング・ブラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			575	化学及血清療法研究所	1 乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	1,2 製造工程
			583	日本シエリング	インターフェロンベータ1b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
マラリア	CDC MMWR, 9/26, 2003/52(38): 908-11	米国フロリダ州で2003年7-8月で、7名のマラリア感染者が確認された。感染者はいずれも過去のマラリア感染歴もなく、最近に輸血、移植、薬物静脈注射の投与経験もなかった。6名は感染地域への渡航歴がなく、1名は2年前にコロンビアから移住した者だが、前居地はマラリア感染区域ではなかった。7名のマラリア原虫のDNAは一致した。	303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血・米 国、献血・日 本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有 人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精 製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗 破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリ	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細 胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製 造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日 本、 米 国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、 米国	1~3 有効成分
613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分			
マラリア	Infectious Diseases News Brief, Health Canada 11/14, 2003	2003年3月、米国テキサス州ヒューストンで赤血球輸血を介したマラリア感染を疑う69歳男性の症例報告。2名のドナーの血液からはマラリアの抗体、DNAは確認されなかった。	394	中外製薬	インターフェロンアルファ2a(遺伝子組換え)	ヒト血清アルブミン	ヒト血清	スイス	添加物
マラリア	ProMED-mail 8/24, 2003 (The Palm Beach Post 8/3, 2003)	米国フロリダ州で海外渡航歴のない12名のマラリア感染者が確認された。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画 分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米 国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画 分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米 国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画 分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米 国	添加物

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			205	ベネシス	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン 3 ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国	1~3 有効成分
			303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血:米国、献血:日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
マラリア	ProMED-mail 8/4, 2003 (The Post and Courier 7/29, 2003)	米国フロリダ州で海外渡航歴のない12名のマラリア感染者が確認された。	205	ベネシス	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン 3 ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国	1~3 有効成分
			303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血:米国、献血:日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
リーシュマニア症	AABB Association Bulletin #03-14, 2003, 10/10	BPACは全血について、リーシュマニア症の既往を永久供血停止に、イラクへの旅行者は1年間の供血停止にすることを勧告した。	589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
リーシュマニア症	AABB Web site. 2003; 10/10	米国血液銀行協会はリーシュマニア症の輸血感染の可能性があるので、イラク渡航者の献血を延期すべきとの見解を公表した。	360	化学及血清療法研究所	1 乾燥弱毒生風しんワクチン 2 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	人血清アルブミン	ヒト血液		1,2 添加物/製造工程
			361	化学及血清療法研究所	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ペプシン処理人免疫グロブリンG分層	ヒト血液		有効成分
			413	化学及血清療法研究所	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	スルホ化人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国(ベニロン) 日本(献血ベニロン-I)	有効成分
			414	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人アンチトロンピン	アンチトロンピン	ヒト血液	日本	有効成分
			492	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			526	化学及血清療法研究所	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	抗破傷風人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分
			575	化学及血清療法研究所	1 乾燥人血液凝固第 因子複合体	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	1,2 製造工程
リーシュマニア症	AABB Weekly Report. 2003; 9(44): 3	BPACは全血について、リーシュマニア症の既往を永久供血停止に、イラクへの旅行者は1年間の供血停止にすることを勧告した。	514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第 因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	日本、米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
リケッチア症	American Journal of Tropical Medicine and Hygiene 2003; 68(6): 633-7	ワタオウサギと寄生するマダニが、ヒト課粒球エールリッピア症(HGE)の媒体であるかどうか調査した結果、その可能性が確認された。	233	大洋薬品工業	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ウサギ	中国	有効成分
リフトバレー熱	WHO Weekly Epidemiological Record 2003; No.36, September 5: 314	エジプトでリフトバレー熱が流行し、2003年8月28日現在、患者数45名、うち死亡数17名である。	291	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマー1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	1,2 添加物
レジオネラ感染	Delaware Wave 9/3, 2003	2003年8月、米国デラウェア州におけるレジオネラ症の本年のこれまでの患者総数は22名に達した。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンピン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
レプトスピラ症	ProMED 9/14, 2003 (Hindustani Times 9/14, 2003)	インドGujarat州南部で、少なくとも27名が齧歯類により媒介されるレプトスピラ症に感染し、この1週間に死亡した。また当地から60km離れたBorisana村で原因不明の熱性疾患のため3名死亡した。なお、同村では150名が同疾患に罹患してい	349	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗モンテブラーゼモノクローナル抗体	マウス腹水		製造工程
			350	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	遺伝子組換え細胞	ベビーハムスターの腎臓		製造工程
			351	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	カナダ、米国、オーストラリア、NZ、コスタリカ、ニカラグア、エルサルバドル、パナマ又はウルグ	製造工程
			352	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	プラスミン	ウシ血清	米国、オーストラリア又はニュージーランド	製造工程
			353	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗不純蛋白質抗体	ウサギ血清		製造工程
			354	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓		製造工程
			355	エーザイ	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜		有効成分
			584	エーザイ	セクレチン	セクレチン	ブタ十二指腸		有効成分
			576	大日本製薬	コンドロイチン硫酸鉄	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシ軟骨(気管)	米国、メキシコ	添加物
レプトスピラ症	Tropical Animal Health and Production 2003; 35: 293-9	メキシコ・ユカタン州でウシのレプトスピラの抗体保有状況を調査した結果、734試料中461件(62.8%)で1種以上の血清型に陽性であった。陽性反応はレプトスピラ感染によるものと推測された。ウシの種類、飼育密度は抗体陽性率には影響はなかった。							
レンサ球菌感染	International Journal of Hygiene and Environmental Health 2002; 205: 385-92	ブタを輸送した36歳のトラック運転手にストレプトコッカス・スイス型による敗血症性ショックが起こった。ブタ関係業者の132名の労働者に咽頭検査等を実施したところ、ストレプトコッカス・スイスの定着率は5.3%であった。	356	日本シエーリング	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜	中国	有効成分



感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
レンサ球菌感染	Lijecnicki Vjesnik 2003; 125: 134-7	クロアチアで自宅でブタを処理したことにより、感染したと思われるストレプトコッカス・スイス 型患者が2例発生した。	356	日本シエーリング	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜	中国	有効成分
			577	日本シエーリング	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分
			581	アボットジャパン	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜ヘパリン	中国	有効成分
レンサ球菌性髄膜炎	感染症学雑誌 2003; 77(5): 340-2	ブタ由来と思われる連鎖球菌による化膿性髄膜炎の発症例の報告。	477	帝国臓器製薬	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	カリジノゲナーゼ	ブタ脾臓	中国	有効成分
レンサ球菌性髄膜炎	臨床神経学 43(4): 176-9; 2003	ブタの常在菌であるブタ連鎖球菌による、腰椎硬膜外膿瘍を合併した細菌性髄膜炎を発生した食肉加工業の1症例が、日本で初めて報告された。	232	沢井製薬	ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム	ブタ腸	特定せず	有効成分
			477	帝国臓器製薬	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	カリジノゲナーゼ	ブタ脾臓	中国	有効成分
レンサ球菌性敗血症	International Journal of Hygiene and Environmental Health 2002; 205: 385-92	ブタを輸送した36歳のトラック運転手にストレプトコッカス・スイス 型による敗血症性ショックが起こった。ブタ関係業者の132名の労働者に咽頭検査等を実施したところ、ストレプトコッカス・スイスの定着率は5.3%であった。	577	日本シエーリング	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分
			581	アボットジャパン	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜ヘパリン	中国	有効成分
レンサ球菌性敗血症	Transfusion 2003; 43(9s): S107-040G, Special Abstract Supplement 56th Annual Meeting	米国でB群レンサ球菌による輸血後敗血症が2例報告された。1例はフェレーシス血小板輸血後に死亡、使用製剤及び患者血液を培養した結果、B型レンサ球菌を検出した。他の1例は治癒したが、輸血に用いた血小板製剤5バッグ中、2バッグからB型レンサ球菌を認めた。	589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
ロスリパーウイルス感染	ProMED 10/8, 2003 (Bunbury Mail 10/8, 2003)	ロスリパーウイルスは、ヒト蚊間の感染サイクルが成立する南オーストラリアに限定された感染症であり、その潜伏期間は2～21日である。	358	日本赤十字社	抗H B s 人免疫グロブリン	抗H B s 人免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分
			402	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			403	日本赤十字社	人全血液	人全血液	ヒト血液	日本	有効成分
			588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
ロタウイルス胃腸炎	Indian Journal of Animal Sciences 2003; 73(6); 576-8	インド・アッサム州におけるブタのブタ腸管ウイルス血清調査を実施した結果、ロタウイルス陽性51.1%、伝染性胃腸炎ウイルス陽性39.4%、ブタ流行性下痢性ウイルス陽性21.2%、3種類とも陽性は13.6%であった。	356	日本シエーリング	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜	中国	有効成分
			577	日本シエーリング	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分
			581	アボットジャパン	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜ヘパリン	中国	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
梅毒、B型肝炎、C型肝炎、HIV感染	厚生労働省HP(日赤 血安発421号)	平成15年6月6日よりさかのぼって過去1年の間に血清学的検査及びNAT検査陽性が判明した供血社について、供血歴が確認され輸血用血液製剤の原料として使用された場合は、回収措置をとることという命令に対する日本赤十字社からの回答書。	205	ベネシス	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン 3 ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国	1~3 有効成分
			303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	血液凝固第 因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第 因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピン	人アンチトロンピン	ヒト血液	非献血:米国、献血:日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第 因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第 因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物